

国産牛肉トレーサビリティ導入手引書

(販売業者編：電子伝達・記録・保存)

平成16年7月

財団法人 日本食肉流通センター

目 次

はじめに

1	対象事業者	1
2	対象とする電子情報	1
3	卸売段階におけるトレーサビリティ情報の伝達・記録・保存の方法（現状と今後の方向）	2
4	小売段階におけるトレーサビリティ情報の伝達・記録・保存の方法（現状と今後の方向）	5
5	食肉卸売段階と小売段階における情報の伝達・記録・保存の現状	7
6	食肉卸売段階と小売段階におけるトレーサビリティ情報の新たな伝達・記録・保存の方法	9
7	標準フォーマット	19
8	食肉情報の電子伝達標準検討委員会 委員名簿	24
	< 巻末資料 >	25
1	食肉標準品名コード	26
2	食肉標準品名コード表	29
3	商品属性コード表	34
4	全国食肉処理施設一覧表による通し番号	36
5	食肉EDI標準メッセージ（データ項目説明一覧）	42
1 2	出庫依頼情報	42
1 3	出庫報告情報	46

はじめに

牛及び牛肉に係る個体識別情報の適切な管理及び伝達・提供を促進すること等により、消費者の利益の増進を図ること等を目的として、平成15年6月には「牛の個体識別のための情報の管理及び伝達に関する特別措置法」(以下「トレーサビリティ法」という。)が成立し、関係政省令などが制定されている。

トレーサビリティ法は、平成15年12月1日から牛の生産段階(一部と畜段階での届出を含む。)において施行され、平成16年12月1日からはど畜以降の流通段階においても施行されることとされている。

このような状況を背景として、国産牛肉のトレーサビリティを実施するための基本的な手順を示した「国産牛肉トレーサビリティ導入手引書(総論編)」が作成され、この総論編のほか更に詳しい「と畜場編」、「部分肉加工場編」、「食肉小売店舗編」、「焼肉店舗編」などの手引書が作成されている。

ところで、食肉流通において大きな役割を担っている食肉加工メーカー・卸売業者や量販店・チェーンストア等の食肉販売業者における取引は、商品(食肉)に物流バーコードを貼付して行われ、取引情報(納品、請求情報等)は情報機器を使用した電子情報交換(Electronic Data Interchange=EDI)によって行われているものが多い。

トレーサビリティ法に基づき、これら食肉販売業者はそれぞれ、取引先毎に、納入(仕入)した牛肉の個体識別番号、重量等を記録し、保存しなければならないこととされている。

トレーサビリティの情報伝達をEDIによって行っている食肉販売業者が牛肉の個体識別情報及び取引情報をシステムティックに記録・保存をするためには、可及的速やかにEDIフォーマットや物流バーコードの標準化などの環境整備をすることが必要である。

本書は、効率的かつ正確なトレーサビリティの実施を図るために、新たに食肉販売業者が業務の電子化を図る場合の手引書として、また、すでに業務を電子化している販売業者が現行のシステムをより効率的に運用することができるようにするための手引書として作成したものである。

本書が関係者によって広く利用されることを望むものである。

平成16年7月

財団法人日本食肉流通センター

理事長 赤保谷 明正

1 対象事業者

- (1)(と畜段階) 食肉卸売市場の部分肉加工場(市場会社直営・関連会社含む)
食肉卸売市場内仲卸事業者、産地食肉センターの部分肉加工場・
部分肉販売事業所
- (2)(卸売段階) 食肉加工メーカー、部分肉加工事業者、食肉卸売業者(食肉商
社) 精肉パック加工場(パックセンター)
- (3)(小売段階) チェーンストア(本部・店舗)、量販店、食品スーパー、食肉
専門小売店
- (4)(その他) 食肉卸売段階の委託を受けて食肉の冷蔵保管・入出庫を行う
営業冷蔵庫

2 対象とする電子情報

電子化されている情報は、以下の通りである。

- (1) 枝肉仕入情報
- (2) 部分肉加工情報
- (3) 卸売段階の部分肉販売・管理情報
- (4) 小売(チェーン)発注情報
- (5) 納品情報
- (6) 請求情報
- (7)(営業冷蔵庫等) 入庫情報・在庫情報・出庫情報

以上の情報のうち、(1)枝肉仕入情報(2)部分肉加工情報については「国産牛肉トレーサビリティ導入手引書」の「と畜場編」、「部分肉加工場編」に詳しく書かれているので参照のこと。

(4)小売(チェーン)発注情報、(5)納品情報、(6)請求情報については、原則として既に行われている電子化の手法をそのまま利用する。(新規にシステムを導入をする場合は、(財)食品流通構造改善促進機構の「食肉流通の取引電子化導入・活用ガイド」を参照のこと。)

本書では、「チェーンストアのパックセンター」や「食肉販売業者」が得意先(小売チェーンの各店舗、卸売業者など)に納品する場合に、トレーサ

ピリティ法で課せられている得意先別の納品（仕入）した個体識別番号毎の納品重量、納品日等の情報（以下「トレーサビリティ情報」という。）を伝達・記録・保存する方法について詳しく解説する。

トレーサビリティ情報を伝達・記録・保存する方法は、（３）の卸売段階における食肉卸売業者間の取引や、産地食肉センターと食肉卸売業者との部分肉販売管理情報を伝達・記録・保存する方法としても利用することになる。

また、食肉加工メーカー等が営業冷蔵庫に預け、営業冷蔵庫から直接得意先に納品される場合もあるので、（７）の（営業冷蔵庫等）入庫情報・在庫情報・出庫情報についても一部触れることとした。

3 卸売段階におけるトレーサビリティ情報の伝達・記録・保存の方法（現状と今後の方向）

食肉卸売会社（産地食肉センター・食肉卸売会社・食肉加工メーカー等）のうち、業務を電子化している企業でのトレーサビリティ情報の伝達・記録・保存の方法を以下に示す。（詳細は「国産牛肉トレーサビリティ導入手引書（部分肉加工場編）」を参照のこと。）

（１）仕入（枝肉）

- ・ 仕入時には、と畜場（食肉卸売市場、産地食肉センター等）からの帳票（枝肉受渡票等）と枝肉に貼付されたラベルにある個体識別番号と照合・確認を行う。（枝肉に貼付するラベル例は、表６の１（１４頁）に示してあるので参照のこと。）
- ・ 仕入れた枝肉の情報（仕入先別、個体識別番号・重量・仕入日等）の記録・保存は、と畜場（食肉卸売市場、産地食肉センター等）からの帳票（枝肉受渡票等）内容をパソコンに入力し、商品管理情報としてサーバー等でデータ管理する。

（２）加工

- ・ 仕入れた枝肉の搬入時に枝肉に貼付されたラベル（バーコード）をスキャン（スキャナーで読み取ること）し、「加工管理情報」用パソコン等にデータを送信する。
- ・ 部分肉加工の最終段階で包装・計量時に計量器に連動した部分肉計量ラベ

ル発行機から打ち出されたラベルを部分肉 1 ピースずつと容器（ダンボール）に貼付する。

- ・ 部分肉計量ラベル発行機には前記（ 1 ）で入力された個体識別番号が読み込まれているので、部分肉計量ラベルには自動的に個体識別番号が表示される。
- ・ 個体識別番号毎の加工データ（部分肉セット重量・部分肉歩留りなど）は、「加工管理情報」としてデータ蓄積される。
- ・ 計量ラベルにはバーコードも表示し、バーコードによって個体識別番号を含め各種の情報が伝達できる。
（部分肉に貼付するラベル例は、表 6 の 2（ 1 5 ～ 1 7 頁）に示してあるので参照のこと。）

（ 3 ）販売

- ・ 販売する部分肉の部分肉計量ラベルのバーコードをスキャンし、連動した情報機器により販売伝票を作成する。
- ・ 販売した部分肉の販売先別の個体識別番号・重量・販売日等の情報は、サーバー等の情報機器に「販売管理情報」として記録・保存される。

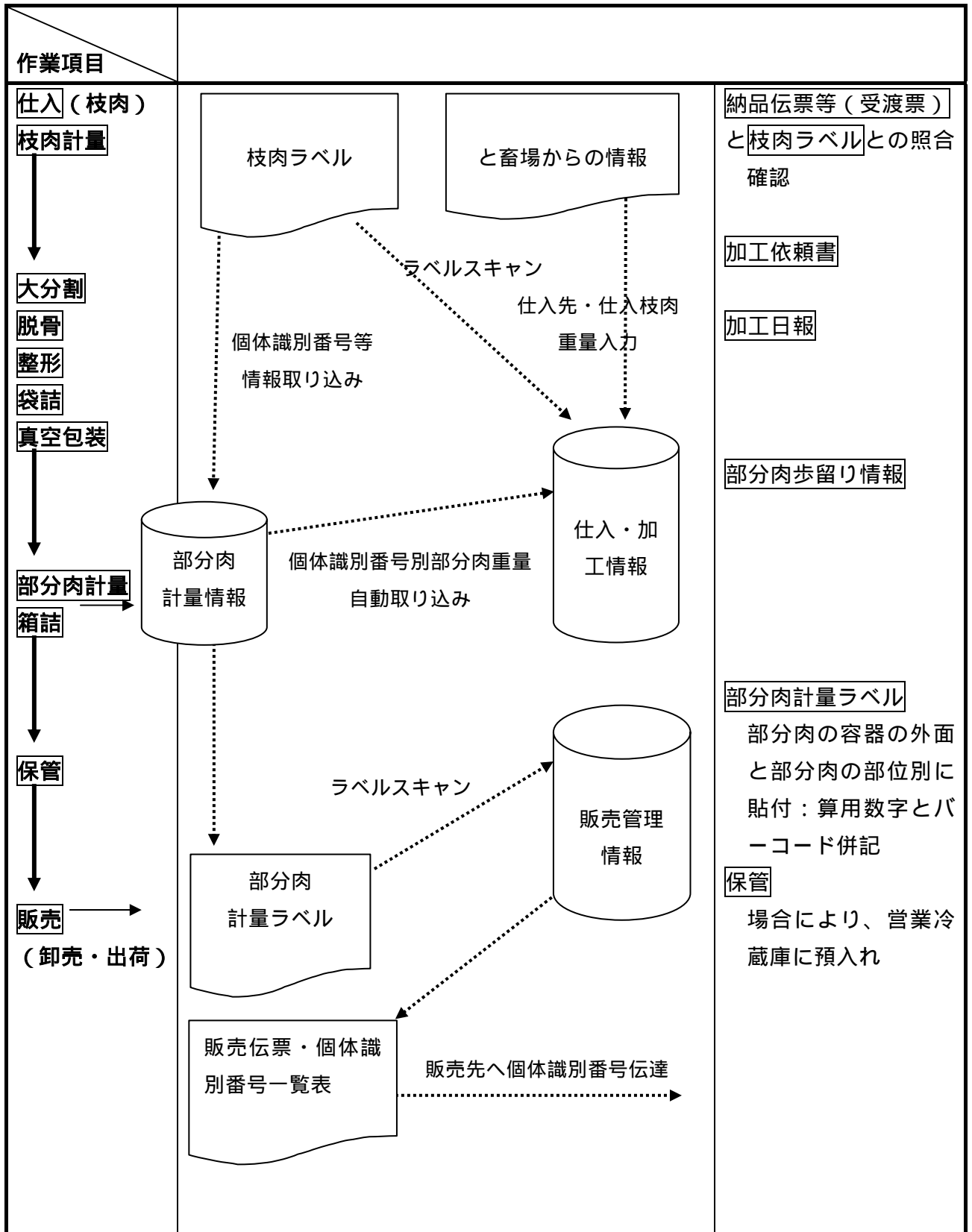
（ 4 ）小売段階への情報伝達

小売段階へは、部分肉に貼付された部分肉計量ラベル（バーコード併記）と販売伝票・個体識別番号一覧表によって個体識別番号等のトレーサビリティ情報の伝達が行われる。

注意

- ・ 小売段階へ個体識別番号を正確に伝達することがトレーサビリティ法で卸売段階に課せられた義務であるので、細心の注意が必要である。このため、部分肉計量ラベルは、部分肉パーツ（部位）毎に 1 枚ずつシュリンク包装袋の上に剥がれないように貼付し、収納するダンボールに収める。
- ・ 得意先の要望により、納品するダンボールの中に個体識別番号ラベルを別途挿入する場合には、部分肉製造現場や小売段階の精肉製造現場で当該ラベルの貼付を取り違えることが考えられるので、十分留意する必要がある。

表1 卸売段階におけるトレーサビリティ情報の管理図



4 小売段階におけるトレーサビリティ情報の伝達・記録・保存の方法（現状と今後の方向）

量販店やチェーンストアの本部・店舗においては、取り扱い商品が生鮮4品（魚・肉・野菜果物・花）加工食品のほか多岐にわたっており、発注・仕入・販売管理はすべて情報機器によってシステムティックに行われている。仕入先とは、コードやメッセージを決め、EDIによって情報の交換が行われている。

トレーサビリティ法に基づいて行われるチェーンストア等の小売店舗やパックスセンターでの作業手順を以下に示す。

（1）発注

各店舗からの発注が本部に送信され、本部のコンピュータからEOS（エレクトロニック・オーダーリング・システム）によって食肉卸売会社等にコンピュータ発注情報を送信する。

（2）仕入・検品

- ・ 仕入時には、発注した商品の検品を行うとともに、食肉卸売会社等からの帳票（販売伝票・個体識別番号一覧表）と部分肉に貼付された計量ラベルにある個体識別番号との照合・確認等を行う。
- ・ 納入された部分肉の計量ラベルにあるバーコードをスキャンし、加工管理用バーコードを発行する。・・・このバーコードラベル（「伝承ラベル」という。）は、仕入部分肉の重量等から一定の枚数を発行するルールを決めておき、当該部分肉の収納されたダンボール箱に入れておく。

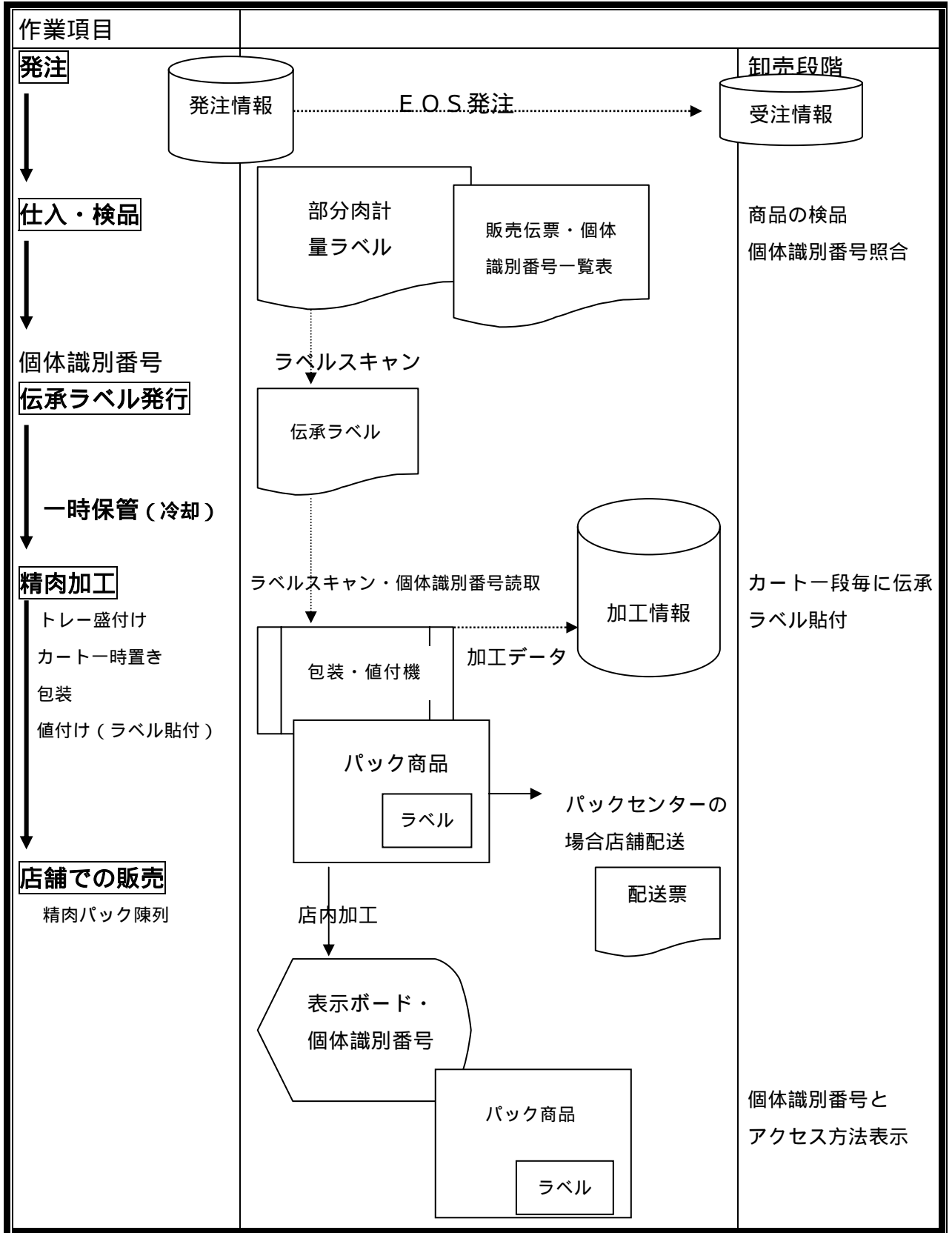
（3）精肉加工

部分肉から精肉加工し、トレーに詰め、カートに一時置きする。・・・カート一段毎に（2）の伝承ラベルを貼付する。

（4）包装・値付け

- ・ 包装・値付機に伝承ラベルのバーコードを読取らせ、プライ斯拉ベルに個体識別番号を印字させる。
- ・ 精肉をパックし、プライ斯拉ベルを貼付する。・・・包装・値付けの一連の作業は包装・値付機でする場合が多い。

表2 チェーンストアのパックセンターや精肉売場等でのトレーサビリティ情報の管理図



注意

< 伝承ラベルの発行 > 店舗等に部分肉ラベルを読み取るスキャナー（バーコードリーダー）やバーコード発行機が無いために伝承ラベルの発行が出来ない場合は、精肉加工の段階で伝承ラベルに替えて識別NO（または記号）のメモを対象部分肉とカートに貼付しておく。

< 包装・値付け > 上記の場合、値付けの際に、包装・値付けの対象となる部分肉計量ラベル（個体識別番号）を商品ラベルに取り込む。

< 販売・表示 > 商品ラベル（プライ斯拉ベル）に個体識別番号を表示できない場合は、カラーシールや棚帯等によって識別出来るようにし、店頭ボードにて個体識別番号を連動させ、消費者に伝達する方法をとる。（詳しくは「国産牛肉トレーサビリティ導入手引書（総論編）」を参照のこと。）

5 食肉卸売段階と小売段階における情報の伝達・記録・保存の現状

（1）個体識別番号の伝達・表示販売

- ・ 食肉卸売会社から小売段階へ帳票と部分肉計量ラベルで個体識別番号を伝達し、パックセンターでその情報をパック商品に貼付したり、小売店舗においてボードにより個体識別番号を伝達して販売する一連の作業は、現行の情報交換の手法で可能である。
- ・ 食肉卸売会社によっては、部分肉計量ラベルにバーコードが記載されていない場合があり、また、食肉卸売会社が共通で同一の体系を使用していない場合があるのでこの標準化が必要である。
- ・ 食肉卸売会社にとっては、産地食肉センターや食肉卸売会社からの仕入管理や、部分肉を営業冷蔵庫で冷蔵保管する際の入出庫・在庫管理のためにもバーコードの活用を図ることが望まれる。

（2）納品伝票

- ・ 多くの場合チェーンストア統一伝票を使用して納品しているが、この伝票には個体識別番号の記載欄がない。チェーンストア統一伝票の様式の変更は、トレーサビリティへの対応が食品の多くの部門で広がった時に検討されることになると思われるが、食肉部門（しかも牛肉のみ）だけの段階で個体識別番号を入れた納品伝票に様式を統一することは困難である。
- ・ 国産牛肉トレーサビリティ導入手引書（総論編）に示された品名・規格欄に二段書きすることは可能であるが、それに対応するEDIが出来ていな

い（個体識別番号は、得意先でデータとして記録・保存ができない。）

従って、「国産牛肉トレーサビリティ導入手引書（総論編）」に示されているように、納品書には「和牛かたコース」、「8個」、「125.8KG」と記載するのが通常であり、個体識別番号は、同手引書にある「個体識別番号一覧表」で伝えることになる。

表3 納品書と個体識別番号一覧表の例

< 販売伝票 >

店長	input	検収者	納品書 (仕入伝票)		伝票区分	伝票番号 12468	検収印	
店名 (株)食品スーパー 川崎	店コード	部門コード	納入月日 15 05 07	取引先コード 1 2 5 7 0 9	取引先 (株)川崎ハム			
品名・規格	入数	ケース	商品コード	数量	原単価	原価金額	売単価	備考(売)
1 和牛かたコース	8		81320	125.8	2950	371110		
2								
3								
原価金額合計						371110	売価金	
備考 個体識別番号の一覧は別紙です								

< 個体識別番号一覧表 >

個体識別番号一覧表		納入日 年 月 日 納品書NO12468		
	品名規格	識別番号	個体識別番号	重量KG
1	和牛かたコース	123右	1324689033	12.5
2	同上	123左	1324689033	11.8
3	同上	124右	2345678901	10.6
4	同上	124左	2345678901	10.7
5	同上	125右	1357924680	12.3
6	同上	125左	1357924680	11.9
7	同上	126右	4567123663	13.2
8	同上	126左	4567123663	12.3
合計				125.8

(3) 記録管理

- ・ 食肉卸売会社には、販売先別に部分肉の個体識別番号、重量、納入日等を記録管理することがトレーサビリティ法で義務付けられている。
- ・ 小売段階の量販店・チェーンストアにおいても、各店舗別に仕入先の食肉卸売会社、部分肉とその個体識別番号、重量、仕入日等を記録管理することがトレーサビリティ法で義務付けられている。
- ・ しかし、食肉卸売会社と量販店・チェーンストア間の現行のEDIでは、個体識別番号データは何処にも残らないので、個体識別番号一覧表の書類等を保存する方法しかない。
- ・ 書類での保存は、日々大量の取引をしている食肉卸売会社や量販店・チェーンストアにとって物理的にも困難なことであり、何よりも業務の効率化のためにEDIを採用しているこれらの企業にとっては、好ましいことではない。

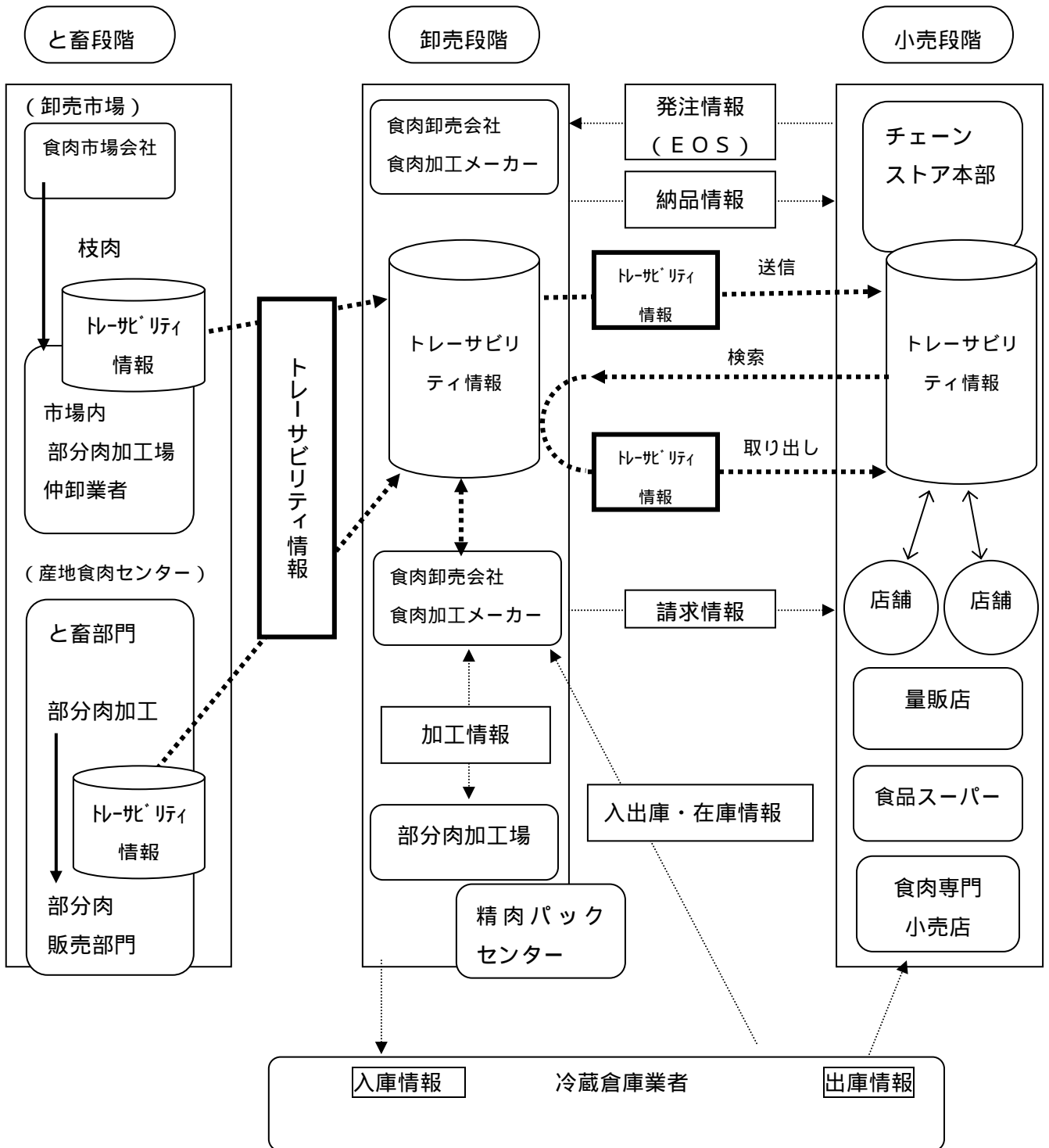
6 食肉卸売段階と小売段階におけるトレーサビリティ情報の新たな伝達・記録・保存の方法

- (1) 業務の電子化が進んでいる食肉卸売会社と量販店・チェーンストア間における個体識別番号等の情報伝達は、EDIによって行い、トレーサビリティ法で義務付けられている個体識別番号等のトレーサビリティ情報をデータとして蓄積・保存する。

具体的には、卸売業者のサーバーに個体識別番号等のデータを保存することにより、そのデータを小売業者に伝送してサーバーに保存するシステム、小売業者からアクセスすることによりデータを受信するシステムが考えられる。

なお、上記システム構築に伴う伝送手順やセキュリティ等については、当事者間で事前に十分協議しておく必要がある。

表4 新たなトレーサビリティ情報の伝達・記録・保存の方法の事例図



(2) 納品に際し、従来の納品書に加え「トレーサビリティ情報」を伝達する。

- ・ 国産牛肉トレーサビリティ手引書（総論編）にある前記表3の「個体識別番号一覧表」に代わるもの。
- ・ 名称は、「トレーサビリティ情報」、「個体識別番号一覧表」、「明細表」、「量目表」等とし、特に統一した名称としない。

表5 新たなシステムによる「トレーサビリティ情報」の帳票例（保存データをプリントアウトしたもの）

(その1)

トレーサビリティ情報

販売者〇〇食肉 担当者 山本


管理NO		納品書NO	2 3 4 5 6 7	納品日	0 4 / 6 / 6	
販売先	スーパー神奈川	店舗	川崎店	作成日	0 4 / 6 / 5	
商品名	数量	重量	産地	枝NO	個体識別番号	備考
和牛サーロイン	2	11.5 10.8	岩手県	1 2 3 4	1 1 5 5 3 0 5 3 0 6	
和牛かたろース	1	12.6	福岡県	0 0 1 2	1 0 7 8 9 2 9 7 6 7	
国産牛うちもも	1	10.8	神奈川県	0 0 3 4	1 0 5 5 5 6 6 6 7 8	
国産牛しんたま	1	8.3	神奈川県	0 0 3 4	1 0 5 5 5 6 6 6 7 8	
~~~~~						
国産牛ともばら	1	17.8	福岡県	0 0 2 4	1 1 4 4 5 6 6 7 7 8	
合計	1 2	1 8 6 . 5				

(その2) 個体識別番号をバーコードで記載したもの

量目明細表・個体識別番号一覧表

販売者〇〇食肉

担当者 山本

管理NO		納品書NO	3456	納品日	04/6/6	
販売先	スーパー神奈川	店舗	川崎店	作成日	04/6/5	
商品名	数量	重量	産地	枝NO	個体識別番号	バーコード
和牛サーロイン	2	11.5	10.8 岩手県	1234	1155305306	 (251)1155305306
和牛かたろース	1	12.6	福岡県	0012	1078929767	 (251)1078929767
国産牛らんいち	1	11.6	大分県	0045	1234567893	 (251)1234567893
~~~~~						
~~~~~						
合計	9	138.6				

(部分肉計量ラベルが不鮮明でスキャンしにくい場合には、このバーコードで個体識別番号を読み取ることが可能。)

注：一行に複数の商品名・個体識別番号が印字される帳票もある。

(3) トレーサビリティに必要な個体識別番号等のEDI標準フォーマットの作成(標準フォーマットは、19頁に示してある。)

上記「食肉EDI標準フォーマット」、「食肉標準物流バーコード」は、農林水産省の「生鮮食品等取引電子化基盤開発事業」で開発された

- ・食肉EDI標準メッセージ
- ・食肉標準物流バーコード

を基本とし、これに必要な調整・修正を行なった。

但し、食肉卸売会社と量販店・チェーンストア間で行われているトレーサビリティ以外のE D Iメッセージ（商品コード等）は、現在使用しているコードのままとし、情報機器によって「コードの読み替え」などで対応する。

- ・ 新たに情報機器を導入してE D Iを行う食肉販売業者は、農林水産省の「生鮮食品等取引電子化基盤開発事業」で作成された「食肉流通の取引電子化導入・活用ガイド」((財)食品流通構造改善促進機構の発行)にある「食肉標準商品コード」を利用することとする。

(4) 今回決めた「食肉E D I標準フォーマット」、「食肉標準物流バーコード」は、産地食肉センターと食肉卸売会社との部分肉取引や、食肉卸売会社間の部分肉取引、営業冷蔵庫における入出庫・在庫管理にも活用する。



表6 食肉に貼付するラベルの例と食肉標準物流バーコード

1 枝肉ラベルの例（食肉標準物流バーコードを枝肉ラベルに適用した例。）

<枝肉ラベルへの食肉標準バーコードの表示例>

畜種・品種 <b>黒毛和種</b>		原産地 <b>東京都</b>
個体識別番号 <b>1234567895</b>		枝肉番号 <b>1010 右</b>
と畜日 <b>03.11.28</b>		重量 <b>121.0</b> kg
 (251)1234567895(11)031128(3101)001210(7002)99910102111130		
<b>株式会社東京畜産センター</b> 東京都千代田区千代田1-1-1		

食肉標準物流バーコードは、部分肉のカートンおよび個別包装（シュリンクパック等）に貼付する物流ラベルに全国で共通のバーコードを表示することにより、物流業務の効率化を図ること、及びカートン単位での情報追跡を可能とすることを目的として開発された。コード体系は、U C C / E A N - 128 体系が採用されている。



項目	A I	桁数	記載方法
個体識別番号	251	10	独立行政法人家畜改良センターが付番管理する個体識別番号（耳標番号）を表示する。
と畜日	11	6	と畜した日を西暦（下2桁）+月（2桁）+日（2桁）で表示する。
重量	3101	6	小数点以下1桁のキログラム表示
枝肉番号	7002	可変長最大 30桁	枝肉番号については、次の14桁とする。 工場番号（3桁）+枝肉番号（4桁）+左右識別（1桁）+畜種（1桁）+品種（2桁）+原産地（2桁）+JAS区分（1桁） JAS区分は、生産情報公表牛肉であることを表す。 （0：一般、1：JAS規格）

## 2 部分肉ラベルの例とバーコード

( 1 ) 補助バーコードに個体識別番号と枝肉番号を表示した例

< 個体識別番号と枝肉番号を表示した例 1 >

原産地 <b>東京都</b>		品種 <b>和牛</b>		品名 <b>まえずね</b>	
カット規格名 <b>レギュラー</b>		補助バーコード			
個体識別番号 <b>1234567895</b>		(251)1234567895(7002)99910102111130			
賞味期限 <b>04.01.31</b>	枝番 <b>右1010 P</b>	シリアル <b>0020</b>	保存温度0		
加工年月日 <b>04.01.01</b>	ロット <b>000000000</b>	重量(kg) <b>12.20</b>	<b>12.2</b>		
基本バーコード					
(01)94912345135009(3102)001220(11)040101(21)999112345678					
<b>加工元</b>		<b>株式会社東京畜産センター</b>			
		東京都千代田区千代田1-1-1			

### 【補助バーコード】



(251)1234567895(7002)99910102111130

(251) 1234567895 (7002) 999 1010 2 1 11 13 0

↑ 個体識別番号      ↑ 工場番号      ↑ 枝肉番号      ↑ 畜種      ↑ 品種      ↑ 原産地

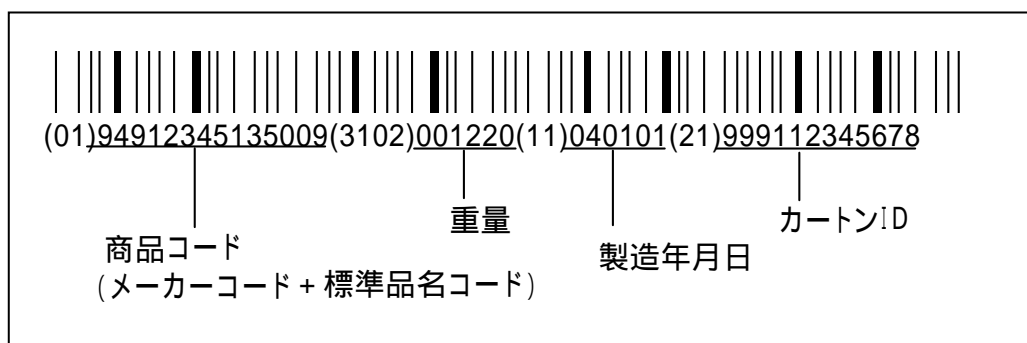
↑ 左右区分      ↑ JAS区分

項目	AI	桁数	記載方法
個体識別番号	251	10	独立行政法人家畜改良センターが付番管理する個体識別番号(耳標番号)を表示する。
枝肉番号	7002	可変長 (最大 30 桁)	以下の 14 桁とする。 工場番号(3桁) + 枝肉番号(4桁) + 左右識別(1桁) + 畜種(1桁) + 品種(2桁) + 原産地(2桁) + JAS 区分(1桁) JAS 区分は、生産情報公表牛肉であることを表す。 (0:一般、1:JAS規格)

(注) AIの桁数を含めて、全体で 48 桁以内です。

### 【基本バーコード(必須)】

基本的な項目を表示するバーコード



項目	AI	桁数	記載方法
商品コード	01	14 桁	「9」+ JANメーカーコード(7桁) + 標準品名コード(5桁) + チェックディジット(1桁)で表示。
重量	3102	6 桁	小数点以下2桁のキログラム表示。
製造年月日	11	6 桁	部分肉を加工・パックした日を、西暦年(下2桁) + 月(2桁) + 日(2桁)で表示。
カートン ID	21	可変長 (最大 12 桁)	カートン単位に対して加工元が設定する連続番号を表示。 のJANメーカーコードとカートンIDを併せて、カートンが一つに特定できるよう設定。

(2) 補助バーコードにロット番号と枝肉番号を表示した例  
 <ロット番号と枝肉番号を表示した例2>

原産地 <b>北海道</b>	品種 <b>乳用種</b>	品名 <b>牛正肉(ミンチ用)凍結</b>
カット規格名 <b>ミンチ用</b>		
賞味期限 <b>05.12.31</b>	枝番	シリアル <b>0020</b>
加工年月日 <b>04.01.01</b>	ロット <b>12341821238</b>	重量(kg) <b>10.00</b>
		保存温度 <b>-2.0</b>
		<b>10.0</b>
		
加工元 <b>株式会社東京畜産センター</b> 東京千代田区千代田 1 - 1 - 1 問合せ先 03-1234-5678		

  
 (10)12341821238(7002)99910102111130  
 (10) 123 4182 123 8 (7002) 999 1010 2 1 11 13 0  
 ↑                    ↑                    ↑                    ↑                    ↑  
 ロット番号                    工場番号                    枝肉番号                    畜種                    品種                    原産地                    JAS区分  
 左右区分

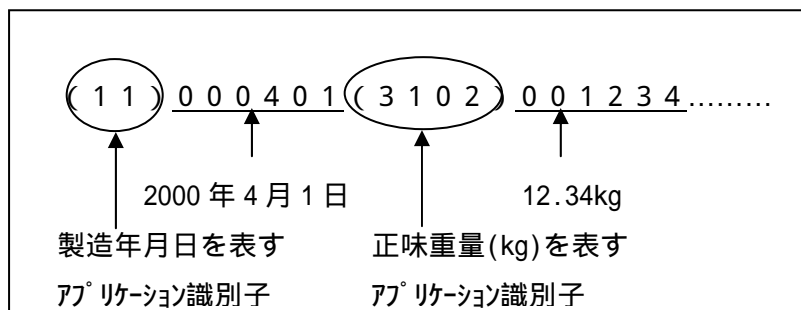
項目	AI	桁数	記載方法
ロット番号	10	可変長 (最大 20 桁)	記載内容は、任意とする。(サンプル 11 桁) 工場番号(3 桁) + 年日(4 桁) + 連番(3 桁) + CD(1 桁) 注)年日(西暦下 1 桁 + ジュリアンデート 3 桁) CD(チェックジット:モジュール 10、重み 3、1) このサンプルは、ロット番号をユニークにする例です。

項目	AI	桁数	記載方法
枝肉番号	7002	可変長 (最大 30 桁)	以下の 14 桁とする。 工場番号(3 桁) + 枝肉番号(4 桁) + 左右識別(1 桁) + 畜種(1 桁) + 品種(2 桁) + 原産地(2 桁) + JAS区分(1 桁) JAS区分は、生産情報公表牛肉であることを表す。 (0:一般、1:JAS規格)

### UCC/EAN - 128

食肉標準物流バーコードは、国際的なバーコード標準化の動向に合わせて、UCC/EAN - 128 の体系を採用している。UCC/EAN - 128 は以下の 2 種類のデータ項目で構成される。

- ・アプリケーション識別子（データの種類や表示形式を表す識別コード番号。  
略称：AI（Application Identifier））
- ・データ（カートン番号、製造年月日、重量等を表す文字あるいは数字）



UCC (Uniform Code Council) は流通分野における北米の標準化機関、EAN (European Article Number) は国際的な標準化機関の名称で、UCC/EAN と言えば消費財流通分野における国際標準であることを意味している。

UCC/EAN の後に続く「128」という数字は、コード 128 というバーコードを意味しており、コンピュータで使用できるアスキー文字の種類(128種)全部をバーコードで表現できるところからこの数字が付いている。

## 7 標準フォーマット

### (1) 標準フォーマットの形式

情報グループ	項目名称	記入例	項目説明	最大桁数	小数	ステータス
送信元 (FROM)	送信元企業コード(売上側)	00001	送信元企業を表すコード	X(13)		必須
	送信元企業名称(カナ)	A B C ハム	送信元企業の名称 カナ表記	X(35)		選択
	送信元企業名称(漢字)	A B C ハム	送信元企業の名称 漢字表記	N(35)		選択
	送信元企業部課コード	00010	送信元企業の店舗売場、本部課等を表すコード 任意(当事者間で決定)	X(13)		選択
	送信元企業部課名称(カナ)	コクナイギョウニクブ	送信元企業の店舗売場、本部課等の名称 カナ表記	X(35)		選択
	送信元企業部課名称(漢字)	国内牛肉部	送信元企業の店舗売場、本部課等の名称 漢字表記	N(35)		選択
	送信担当者電話番号	044-123-4567	送信元企業の発注担当者の電話番号	X(20)		選択
受信元 (TO)	受信元企業コード	02000	受信元企業を表すコード(受信元企業コード)	X(13)		必須
	受信元企業名称(カナ)	イロハスーパー	受信元企業の名称 カナ表記(受信元企業の名称)	X(35)		選択
	受信元企業名称(漢字)	いろはスーパー	受信元企業の名称 漢字表記(受信元企業の名称)	N(35)		選択
	受信元企業事業所コード	00200	受信元企業の実業所を表すコード (受信元企業の受信元元事業所)	X(13)		選択
	受信元企業事業所名称 (カナ)	セイニクブ	受信元企業の実業所の名称 カナ表記 (受信元企業の受信元元事務所名称)	X(35)		選択
	受信元企業事業所名称 (漢字)	精肉部	受信元企業の実業所の名称 漢字表記 (受信元企業の受信元元事務所名称)	N(35)		選択
	受信元企業担当者電話番号	03-3987-6543	納品企業の担当者の電話番号	X(20)		選択
管理	管理ナンバー	ABC3333333	送信元が決めたデータ管理番号	X(20)		必須
伝票情報	伝票ナンバー	U000001	送信元が決めた納品情報に振られる一意の番号	X(15)		選択
	伝票行ナンバー	01	送信元が決めた納品情報に振られる一意の番号	X(3)		選択
識別情報	個体識別番号	1234567895	個体識別番号(ロット形成時は、任意)	X(10)		必須
	ロット		ロットナンバー	X(20)		(必須)
アクション 要求	アクション要求コード	1	情報の訂正 / 取消(赤黒区分)を表すコード 0:通常 1:取消 2:取消修正(黒)	X(1)		選択
	取引区分	2	当該情報を取引内容を示すコード	X(2)		必須
データ作成	データ作成年月日	20040517	データを作成した年月日(西暦:yyyymmdd)	X(8)		選択
	データ作成時刻	1600	データを作成した時刻(hhmm)	X(4)		選択
納品日(着日)	納品年月日	20040519	商品を納品する年月日(西暦:yyyymmdd)	X(8)		必須
納品先関連	納品先コード1	11111	納品先を表すコード (発注企業の店舗、倉庫等を含む)	X(13)		選択
	納品先名称(カナ)1	イワツキセンター	納品先の企業の名称 カナ表記 (発注企業の店舗、倉庫等を含む)	X(35)		選択
	納品先名称(漢字)1	岩槻センター	納品先の企業の名称 漢字表記 (発注企業の店舗、倉庫等を含む)	N(35)		選択

情報グループ	項目名称	記入例	項目説明	最大桁数	小数	ステータス
28	納品先関連	納品先コード2	00222 納品先を表すコード (発注企業の店舗、倉庫等を含む)	X(13)		選択
29		納品先名称(カナ)2	オオミヤテン 納品先の企業の名称 カナ表記 (発注企業の店舗、倉庫等を含む)	X(35)		選択
30		納品先名称(漢字)2	大宮店 納品先の企業の名称 漢字表記 (発注企業の店舗、倉庫等を含む)	N(35)		選択
31	冷蔵倉庫 事業者関連	冷蔵倉庫事業者コード	03000 出庫した冷蔵倉庫事業者を表すコード	X(13)		選択
32		冷蔵倉庫事業者名称(カナ)	シバウラレイソウ 出庫した冷蔵倉庫事業者の名称 カナ表記	X(35)		選択
33		冷蔵倉庫事業者名称(漢字)	芝浦冷蔵 出庫した冷蔵倉庫事業者の名称 漢字表記	N(35)		選択
34		冷蔵庫ロットナンバー	77777777 冷蔵倉庫事業者が決めた一意の番号	X(11)		選択
35		出庫年月日	20040516 冷蔵庫から商品を出庫した実際の日付	X(8)		選択
36		出庫報告ナンバー	88888888 冷蔵倉庫事業者が決めた出庫報告情報に振られる 一意の番号	X(11)		選択
37	寄託者関連	寄託者コード	000001 寄託者企業を表すコード	X(13)		選択
38		寄託者名称(カナ)	A B C ハム 寄託者企業の名称 カナ表記	X(35)		選択
39		寄託者名称(漢字)	A B C ハム 寄託者企業の名称 漢字表記	N(35)		選択
40	運送会社	便区分	1 運送の便を表す区分(1便、2便、3便) 任意(当事者間で決定)	X(3)		選択
41		運送区分	1 運送方法を表す区分 任意(当事者間で決定)	X(2)		選択
42		運送会社コード	04444 運送会社を表すコード	X(13)		選択
43		運送会社名称(カナ)	カントウウンコ 運送会社の名称 カナ表記	X(35)		選択
44		運送会社名称(漢字)	関東運輸 運送会社の名称 漢字表記	N(35)		選択
45	商品	商品コード	00678 発注時の商品を表すコード	X(13)		必須
46		商品名(カナ)	マエズネ 商品の名称 カナ表記	X(30)		選択
47		商品名(漢字)	まえずね 商品の名称 漢字表記	N(30)		選択
48		標準商品コード	13500 発注時の商品を表すコード 標準商品コード(5桁)の使用を原則とする	X(5)		選択
49		標準商品名(漢字)	まえずね(すね) 標準品名の名称	N(30)		選択
50		重量	0012200 商品の重量	9(7)	3	必須
51		原価税区分	0 原価の税区分[0:税抜、1:税込、2:その他]	X(1)		選択
52	商品	原価単価	0100000 原価の単価	9(7)	2	選択
53		原価金額	012200 原価の金額	9(6)		選択
54		売価税区分	0 売価の税区分[0:税抜、1:税込、2:その他]	X(1)		選択
55		売価単価	0105000 売価の単価	9(7)	2	選択
56		売価金額	012810 売価の金額	9(6)		選択
57	商品属性	態様区分	2 商品の保存・流通温度帯を表す区分	X(1)		選択
58		畜種区分	1 商品の畜種を表す区分	X(2)		選択
59		品種区分	11 商品の品種を表す区分	X(2)		選択
60		性別区分	11 商品の性別を表す区分	X(2)		選択
61		左右区分	0 商品の左右を表す区分	X(1)		選択
62		特定JAS区分	1 商品のJAS認定を表す区分	X(1)		選択

情報グループ	項目名称	記入例	項目説明	最大桁数	小数	ステータス
63	規格	規格	生産情報公表牛肉 商品のサイズ、整形方法指示、ピース毎の重量範囲を示す漢字表記	N(35)		選択
64	原産地	原産地コード	13 原産地(国内:都道府県、輸入:輸入国)を表すコード ・国内はJIS都道府県コード ・国外はISO 3166 3文字のアルファベットコード	X(3)		選択
65		原産地名(カナ)	トウキョウト 原産地名(国内:都道府県名、輸入:輸入国略称) カナ表記	X(20)		選択
66		原産地名(漢字)	東京都 原産地名(国内:都道府県名、輸入:輸入国略称) 漢字表記	N(10)		選択
67	賞味期限	賞味期限	20040417 商品の品質が保持できる期限	X(8)		選択
68	物流バーコード ラベル関連	物流商品コード	0194912345135009 物流バーコード内の商品コードを表す AI+9+JANメーカコード(7桁、49XXXXX)+標準品名コード(5桁)+チェックシット	X(16)		選択
69		重量	3102001222 商品の重量(重量単位区分で指定した単位) AI+枝肉の場合:枝肉の重量 AI+ボックスミートの場合:ケースの合計重量を示す	X(10)		選択
70		製造年月日	11040318 製造したの製造年月日(パッキングデート(部分肉)、と畜年月日(枝肉)など) AI+製造年月日	X(8)		選択
71		カートンID	21999112345678 カートン毎に一意に振られる番号 AI+カートンID	X(14)		選択
72		ロット番号	 製造ロット番号を表す。 ロットは、品質が同一と見なせる単位や、同一の加工指示により処理された単位のこと。 AI+ロット番号	X(22)		選択
73		枝肉番号	70029991010211113 0 枝肉番号、または枝肉番号に続けてカット規格番号を表す枝肉番号は下記の14桁とする。 AI+工場番号(3桁)+枝肉番号(4桁)+左右識別(1桁)+畜種(1桁)+品種(2桁)+原産地(2桁)+JAS区分(1桁) JAS区分は、生産情報公表牛肉であることを示す。	X(34)		選択
74		個体識別番号	2511234567895 独立行政法人家畜改良センターが管理を行う個体識別番号(ロット形成時は、任意) AI+個体識別番号	X(13)		選択
75		カット規格番号 (メーカー設定)	 メーカーが設定するカット規格番号 AI+カット規格番号	X(33)		選択
76		予備識別子1	 任意 企業間で利用するAI(当事者間で決定)	X(4)		選択
77		予備バーコード1	 任意 企業間で利用するバーコード情報(当事者間で決定)	X(30)		選択



情報グループ	項目名称	記入例	項目説明	最大桁数	小数	ステータス
78	物流バーコード バーコード関連	予備識別子 2	任意 企業間で利用するAI(当事者間で決定)	X(4)		選択
79		予備バーコード 2	任意 企業間で利用するバーコード情報(当事者間で決定)	X(30)		選択
80		予備識別子 3	任意 企業間で利用するAI(当事者間で決定)	X(4)		選択
81		予備バーコード 3	任意 企業間で利用するバーコード情報(当事者間で決定)	X(30)		選択
82	データ変換	データ変換区分 0000000000	任意 企業間でデータ変換が正常に行えたかを管理 (1:エラー)[企業コード、事業所コード、品名コード、納品先コード、冷蔵庫コード~]	X(10)		選択
83	備考	備考 1	小泉牧場	任意 漢字表記(当事者間で決定)	N(35)	選択
84		備考 2	小沢農場	任意 漢字表記(当事者間で決定)	N(35)	選択
85		備考 3		任意 漢字表記(当事者間で決定)	N(35)	選択

注) 1 「必須」は必ず記入する項目。

2 「選択」は入力に義務付けされない項目。

3 19「識別情報・ロット」は任意必須とし、ロットでの伝達が発生した場合にのみ記入する。

## (2) 必須項目の定義

	項目名称	定義等
1	送信元企業コード	共通コードは設定しないが、グローバル・ロケーション・ナンバー(GLN)を推奨する。
8	受信元企業コード	共通コードは設定しないが、グローバル・ロケーション・ナンバー(GLN)を推奨する。
15	管理ナンバー	送信元が決めたデータ管理番号とする。
18	個体識別番号	10桁の個体識別番号を記入する。
19	ロット	ロット番号による伝達の場合に記入する。
21	取引区分	次のコード設定とする。 02: 納品 12: 出庫依頼 13: 出庫報告 90番台は、取引先間の任意とする。
24	納品年月日	商品を納品する年月日(西暦: yyyymmdd)
45	商品コード	現在取引先間で使用しているコードとするが、新規又は見直しを行う場合は、標準商品コードを推奨する。
50	重量	商品の重量(kg)小数第三位



食肉情報の電子伝達標準検討委員会 委員名簿

氏名	所属	役職名
池野 賢司	株式会社マルエツ	商品本部 精肉部長
石毛 和嘉	株式会社鎌倉ハム村井商会	取締役営業部長
伊藤 弓	全国食肉事業協同組合連合会	専務理事
魚住 俊介	伊藤ハム株式会社	ミートディビジョン業務改革 デパートメントマネージャー
小笠原 荘一	日本チェーンストア協会	常務理事
沓澤 宏紀	全国農業協同組合連合会	畜産販売部 総合課 審査役
小西 正典	株式会社ニッチク	営業部 業務課長
近藤 光俊	株式会社ジーコス	開発部 開発第二課長
坂本 尚登	財団法人流通システム開発センター	研究開発部 次長
櫻井 誠	小川畜産食品株式会社	人事部長
中野 修	イオン株式会社	S S M商品本部 畜産商品部長
並木 利昭	日本スーパーマーケット協会	事務局長
細川 泰生	日本ハム株式会社	食肉事業本部 国内ビーフ部長
松島 典夫	株式会社イトーヨーカ堂	食品事業部精肉部 シニアマーチャンダイザー
宮武 靖	プリマハム株式会社	情報システム部 管理チーム課長
山下 文彦	愛知食肉市場株式会社	取締役営業部長
山根 和彦	社団法人日本セルフ・サービス協会	副参与

委員長

< 巻末資料 >

1	食肉標準品名コード .....	2 6
2	食肉標準品名コード表 .....	2 9
3	商品属性コード表 .....	3 4
4	全国食肉処理施設一覧表による通し番号 .....	3 6
5	食肉 E D I 標準メッセージ (データ項目説明一覧) .....	4 2
1 2	出庫依頼情報 .....	4 2
1 3	出庫報告情報 .....	4 6

# 1 食肉標準品名コード

## (1) 標準品名コードの定義

食肉標準物流バーコードの基本バーコードの先頭に表示される「商品コード」には、食肉標準品名コードを使用する。食肉標準品名コードは5桁で構成される。枝肉、部分肉、精肉のそれぞれでコードの構成は、以下のようになっている。

食肉標準品名コードの構成

畜種	枝肉・部分肉			精肉		
牛、豚、鶏	<u>×</u> 畜種	<u>×××</u> 部位	<u>×</u> 「0」又は自由使用	<u>×</u> 畜種	<u>××</u> 部位	<u>—</u> 精肉
				(上2桁)		
上記以外 (羊、鴨など)	<u>××</u> 畜種	<u>×××</u> 部位		<u>××</u> 畜種	<u>×</u> 部位	<u>—</u> 精肉
				(上1桁)		

標準品名コードは、以下の考え方に基づいて設定されている。

## (2) 畜種コード

牛、豚、鶏等の畜種の区分を表す。牛については、さらに和牛、国産牛、輸入牛を識別する。主要な流通畜種である牛、豚、鶏は1桁、これ以外の畜種である羊等を指定する場合は2桁を使用する。

## (3) 部位コード

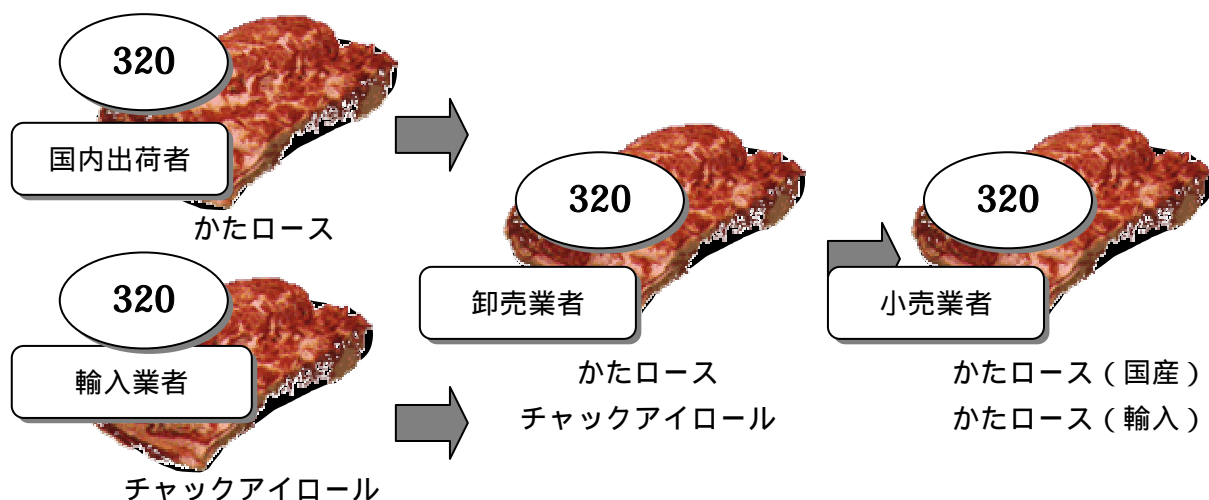
### 基本とした規格

以下の規格を基本として、現状の取引に合わせて部位を一部追加または削除している。

畜種	基準とした規格
牛	コマーシャル規格 ((財)日本食肉流通センター) 但し、副生物は、(社)日本畜産副産物協会の分類基準
豚	コマーシャル規格 ((財)日本食肉流通センター) 但し、副生物は、(社)日本畜産副産物協会の分類基準
鶏	食鶏取引規格および食鶏小売規格 ((社)日本食鳥協会)
上記以外の畜種	それぞれ、上記の各畜種より類似の畜種の部位コードを利用する。

## 海外名称との対応付け

標準部位コードでは、同一あるいは類似の部位であれば、名称が異なる場合も同じコードとしている。  
例えば、「チャックアイロール」は「かたロース」と同じコードとなる。



## 分類方法および付番方法

部位の大分類を示す部位コードの1桁目は、表1に示すとおり、牛、豚、鶏で共通である。

表 1 部位コードの分類方法および付番方法

部位コード	大分類名
100番台～200番台	枝肉/丸どり
300番台	まえ系
400番台	ばら系/むね肉
500番台	ロイン系
600番台	もも系/もも肉
700番台	その他の部位/副品目
800番台	副生物/副品目
900番台	(予備)

なお、セット商品については、次のように設定する。

a. 一頭分または半頭分のセット商品

それぞれ100番台および200番台にセット名称が登録される。

b. 大分類の同じ部位を組み合わせたセット商品

各大分類毎にセット名称が登録される。

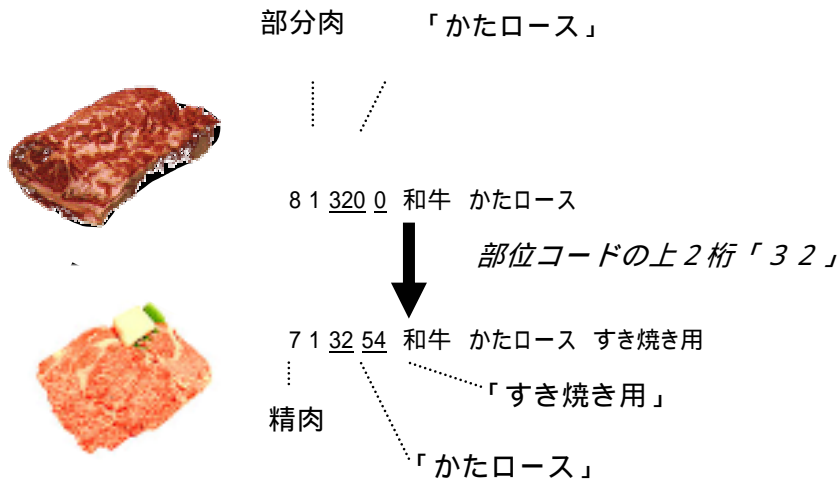
c. 大分類の異なる部位を組み合わせたセット商品

標準化の対象外であるので、表1の900番台を使用して、取引当事者間で自由に設定することができる。

#### (4) 精肉コード

精肉コードは、「ステーキ用」や「焼き肉用」等のスライス加工した商品に対するコードである。

部分肉と精肉のコードは、以下のように利用する。



#### (5) 対象商品の範囲

食肉標準品名コードは、枝肉、部分肉、精肉を対象とする。加工品（ハム・ソーセージ、ハンバーグや焼き鳥等の調理済み・クックレディー商品等）は、基本的には対象外となる。しかし加工品ですでにJANコードの付けられた商品が多く、メーカーを特定する必要性も高いことから、JANコードを利用する。

## 2 食肉標準品名コード表

### (1) 畜種コード

畜種コード	名 称	摘 要
1	和牛	黒毛和種、褐毛和種、日本短角種、無角和種を指す。
2	国産牛	原産国が日本であり、和牛以外の牛を指す。
3	輸入牛	原産国が日本以外である牛を指す。
4	国産豚	原産国が日本である豚を指す。
5	輸入豚	原産国が日本以外である豚を指す。
6	国産鶏	原産国が日本である鶏を指す。
7	輸入鶏	原産国が日本以外である鶏を指す。
	牛・豚に類似した畜種	
81	子牛	
82	馬	
83	羊	
84	山羊	
85	いのしし	
86	いのぶた	
87	鹿	
89	その他	
	鶏に類似した畜種	
91	あひる	
92	かも	
93	あいがも	
94	きじ	
95	七面鳥	
96	ほろほろ鳥	
97	はと	
99	その他	

注) 食肉における原産国とは、飼養期間が最も長い国を指す(平成16年秋改正予定)。



## (2) 部位コード

牛

部位コード	名 称
100	枝肉
101	セット
102	セットC
190	その他枝肉
191	その他セット
200	枝肉半丸(サイド)
201	半丸セット
202	半丸セットC
210	骨付きとも
220	骨付きとも(ばらなし)
290	その他半丸枝肉
291	その他半丸セット
300	骨付まえ
301	まえセット
302	まえセットC
310	ネック
311	ネックS
312	ネックA
320	かたロース(くらした)
321	ネック付きかたロース
322	かたロースS
323	かたロースA
324	かたロースB
325	かたロースC
330	かたばら
331	かたばらA(三角ばら)
332	かたばらB(プリセット)
333	かたばらC
334	かたばらD
340	かた(うで、しゃくし)
341	かたS
342	とうがらし(チャックテンダー)
350	まえずね(すね)
351	まえずねS
390	その他まえ

部位コード	名 称
400	骨付ともばら
401	ともばらセット
402	ともばらセットC
410	ともばら
420	うちばら
421	ともばらA
422	ともばらB
430	そとばら
431	ともばらC
432	ともばらD
440	かいのみ・ささみ
441	かいのみ(フラップミート)
442	フランク(ささみ)
490	その他ばら
500	骨付ロイン
501	骨付ロイン(ヒレなし)
502	ロインセット
503	ロインセットC
510	リブローズ
511	リブローズS
512	リブローズ芯(リブアイロール)
513	リブローズかぶり(リブキャップ)
520	サーロイン
521	サーロインS
522	サーロインA
523	サーロインB
530	ヒレ(ヘレ)
531	ヒレA
532	ヒレB
590	その他ロイン
600	骨付もも
601	ももセット
602	ももセットC
610	うちもも
611	うちももS
612	うちももかぶり
613	うちももA

部位コード	名 称
614	うちももB
620	しんたま
621	しんたまS
622	ともさんかく(トライチップ)
630	らんいち
631	らんぷ
632	いちぼ(クーレット)
640	そともも(はばきなし)
641	そともも(はばき付)
642	そとももS
643	はばき(ヒール)
644	しきんぼ(アイラウンド)
650	ともずね(はばき付)
651	ともずね
652	ともずねS
690	その他もも
710	
711	小肉(トリミングミート)
712	挽材(正肉)
713	小間材
714	切り落とし
715	すじ
720	骨
730	脂肪
731	脂肪
732	天然脂
790	その他部位

(3) 精肉コード

精肉コード	名称
10	ブロック
11	ブロック
12	ブロック, 糸かけ
13	スペアリブ
14	切り身
19	その他ブロック
20	角切り
21	カレーシチュー用
22	B B Q用
29	その他角切り
30	厚切り
31	ステーキ用
32	サイコロステーキ用
33	とんかつ用
34	一口かつ用
35	カツレツ用
39	その他厚切り
50	薄切り
51	薄切り
52	焼肉用
53	カルビ焼き用
54	すき焼き用
55	しゃぶしゃぶ用
56	牛丼用
57	生姜焼き用
58	切り落とし
59	その他
70	細切れ
80	挽肉
81	挽肉(ミンチ)
82	赤身挽肉
83	合挽
89	その他挽肉
90	その他

### 3 商品属性コード表

#### (1) 態様コード

態様コード	名称
2	チルド
3	フローズン
9	その他

#### (2) 品種コード

品種コード	トレーサビリティ法での種別	備考
10	和牛(和種)	
11	A 黒毛和種	
12	B 褐毛和種	
13	C 日本短角種	
14	D 無角和種	
15	E A×B	この種と A 又は B との交雑により生じた種を含む
16	F 和牛間交雑種	(A,B,C,D) × (A,B,C,D)。この種と A,B,C,D,E 種との交雑により生じた種を含み、A×B は除く。
20	K 交雑種	(A,B,C,D,E,F,G) × (H,I,J)。この種と H,I,J との交雑により生じた種を含む。
21	交雑種	H のメスと A のオスとの交雑により生じた種
22	交雑種	21 を除いた K
30	乳用種	
31	H ホルスタイン	
32	I ジャージー種	
33	J 乳用種	H、I を除いた乳用種
40	G 肉専用種	A から F までに掲げる「肉専用種」及び K に掲げる「交雑種」を除く肉専用種、ヘレフォード、シャロレー、アバディーンアンガス種等をいう。

- 注) 1 品種区分は、トレーサビリティ法に基づき、生産段階の牛の管理者が行う記録・届出等の種別(AからKまで)を整理したものである。
- 2 食肉販売業者は、10、20、30、40の区分等で流通させて差し支えない。
- 3 食肉販売業者が生産段階と同様に11の種別に区分して販売したい場合は、個体識別番号により(独)家畜改良センターにアクセスして種別を確認して行う。
- 4 品種コード15(E A×B)及び16(F 和牛間交雑種)は、平成16年内に和牛表示が認定される予定。

(3) 性別コード

性別コード	名 称
10	雄
11	去勢
12	非去勢(ブル)
20	雌
21	経産
22	未經産
30	子
90	その他

(4) 原産地コード(県コード)

県コード	漢字	カナ	県コード	漢字	カナ
01	北海道	ホッカイドウ	25	滋賀県	シガケン
02	青森県	アオモリケン	26	京都府	キョウトフ
03	岩手県	イワテケン	27	大阪府	オオサカフ
04	宮城県	ミヤギケン	28	兵庫県	ヒョウゴケン
05	秋田県	アキタケン	29	奈良県	ナラケン
06	山形県	ヤマガタケン	30	和歌山県	ワカヤマケン
07	福島県	フクシマケン	31	鳥取県	トトリケン
08	茨城県	イバラキケン	32	島根県	シマネケン
09	栃木県	トチギケン	33	岡山県	オカヤマケン
10	群馬県	グンマケン	34	広島県	ヒロシマケン
11	埼玉県	サイタマケン	35	山口県	ヤマグチケン
12	千葉県	チバケン	36	徳島県	トクシマケン
13	東京都	トウキョウト	37	香川県	カガワケン
14	神奈川県	カナガワケン	38	愛媛県	エヒメケン
15	新潟県	ニイガタケン	39	高知県	コウチケン
16	富山県	トヤマケン	40	福岡県	フクオカケン
17	石川県	イシカワケン	41	佐賀県	サガケン
18	福井県	フクイケン	42	長崎県	ナガサキケン
19	山梨県	ヤマナシケン	43	熊本県	クマモトケン
20	長野県	ナガノケン	44	大分県	オオイタケン
21	岐阜県	ギフケン	45	宮崎県	ミヤザキケン
22	静岡県	シズオカケン	46	鹿児島県	カゴシマケン
23	愛知県	アイチケン	47	沖縄県	オキナワケン
24	三重県	ミエケン			

資料：財団法人 食品流通構造改善促進機構

「食肉流通の取引電子化導入・活用ガイド」

「食肉標準物流バーコード導入・利用マニュアル」

#### 4 全国食肉処理施設一覧表による通し番号

都道府県名	通し番号	施設名称
北海道	001	(株)北海道チクレンミート 北見食肉センター
	002	(株)北海道畜産公社 上川事業所 道北食肉センター
	003	(株)北海道畜産公社 道央事業所 早来食肉流通センター
	004	池田町食肉センター
	005	道南雪印食肉(株) 食肉センター
	006	岩見沢市精肉センター
	007	空知ミート(株) 食肉センター
	008	名寄市立と畜場
	009	日本フードパッカー(株) 道南工場
	010	(株)北海道畜産公社 釧路事業所
	011	日本フードパッカー(株) 道東工場
	012	(株)北海道畜産公社 北見事業所 北見地区総合食肉流通センター
	013	(株)北海道畜産公社 十勝事業所 十勝総合食肉流通センター
	014	(株)根室ミートセンター
	015	(株)北海道畜産公社 函館事業所
	016	(株)北海道畜産公社 上川事業所 上川総合食肉流通センター
青森	017	(株)青森畜産公社 津軽食肉センター
	018	三沢市食肉処理センター
	019	(株)三戸食肉センター
	020	十和田食肉センター
	021	日本フードパッカー(株) 青森工場
岩手	022	久慈広域食肉処理場
	023	岩手畜産流通センター食肉処理場
宮城	024	宮城県食肉流通センター
	025	東日本食品(株)
	026	仙台市中央卸売市場食肉市場
秋田	027	秋田県食肉流通センター
	028	北鹿食肉流通センター
山形	029	米沢市営と畜場
	030	山形県総合食肉流通センター
	031	庄内食肉流通センター
福島	032	会津食肉センター
福島	033	(株)福島県食肉流通センター
茨城	034	協同組合水戸ミートセンター
	035	竜ヶ崎食肉センター
	036	取手食肉センター

都道府県名	通し番号	施設名称
茨城	037	茨城協同食肉(株)
	038	土浦食肉協同組合
	039	筑西食肉衛生組合食肉センター
	040	下妻と畜場
	041	茨城協同食肉(株) 下妻事業所
	042	(株)茨城県中央食肉公社
栃木	043	那須地区食肉センター
	044	(株)両毛食肉センター
	045	(株)栃木県畜産公社
群馬	046	藤岡ミートセンター
	047	北毛ミートセンター
	048	(株)群馬県食肉卸売市場
	049	高崎食肉センター
埼玉	050	さいたま市食肉中央卸売市場
	051	川口食肉荷受(株)
	052	日本畜産興業(株) 越谷食肉センター
	053	北崎食肉センター事業協同組合
	054	和光ミートセンター
	055	県北食肉センター
	056	本庄食肉センター
千葉	057	(株)千葉県食肉公社
	058	野田ミートセンター事業協同組合
	059	印旛食肉センター事業協同組合 印旛食肉センター
	060	光町営東陽食肉センター
	061	東庄町食肉センター
	062	県南畜産処理組合
東京	063	東京都中央卸売市場食肉市場
	064	八王子市食肉処理場
	065	大島町と畜場
	066	八丈町と畜場
	067	新島村と畜場
神奈川	068	(株)神奈川食肉センター
	069	横浜市中心卸売市場 食肉市場
新潟	070	阿賀北食肉センター事業協同組合
	071	長岡市営食肉センター
	072	新潟市食肉センター
山梨	073	(株)山梨食肉流通センター



都道府県名	通し番号	施設名称
長野	074	佐久広域食肉流通センター
	075	(株)北信食肉センター
	076	(株)長野県食肉公社 松本支社
	077	(株)長野県食肉公社 飯田支社
富山	078	(株)富山食肉総合センター
石川	079	石川県金沢食肉流通センター
岐阜	080	養老町立食肉事業センター
	081	関市食肉センター
	082	飛騨食肉センター
	083	大垣食肉供給センター
	084	岐阜市食肉地方卸売市場
静岡	085	御殿場市食肉センター
	086	岳南食肉センター
	087	小笠食肉センター
	088	浜松市と畜場
愛知	089	半田食肉センター
	090	名古屋市中央卸売市場 高畑市場 名古屋市と畜場
	091	豊田市食肉センター
	092	(株)東三河食肉流通センター
三重	093	四日市市食肉センター 食肉地方卸売市場
	094	三重県松坂食肉流通センター
	095	熊野市と畜場
	096	伊賀地区広域市町村圏事務組合 伊賀食肉センター
滋賀	097	京滋畜産(株) 大津と畜場
	098	近江八幡市と畜場
京都	099	亀岡市食肉センター
	100	福知山市食肉センター
	101	京都市中央卸売市場 第二市場
大阪	102	南大阪食肉市場(株)
	103	羽曳野市立南食ミートセンター
	104	貝塚市立と畜場
	105	大阪市中央卸売市場 南港市場
兵庫	106	加古川地方卸売市場
	107	福崎食肉センター
	108	新宮町食肉センター
	109	宍粟食肉センター
	110	和田山町と畜場

都道府県名	通し番号	施設名称
兵庫	111	淡路食肉センター
	112	姫路市食肉地方卸売市場 姫路市食肉センター
	113	神戸市中央卸売市場 西部市場
	114	三田食肉センター
	115	西宮市食肉センター
奈良	116	奈良県食肉流通センター
和歌山	117	新宮市食肉処理場
	118	和歌山市立食肉処理場
鳥取	119	㈱鳥取県食肉センター
島根	120	㈱島根県食肉公社
岡山	121	津山市食肉処理センター
	122	井原市食肉センター
	123	岡山県営食肉地方卸売市場
	124	倉敷と畜場
	125	玉野簡易と畜場
	126	吉田簡易と畜場
広島	127	全国農業協同組合連合会 広島県本部 三次食肉加工センター
	128	広島市中央卸売市場 食肉市場
	129	福山市食肉センター
山口	130	周東町食肉センター
	131	柳井市営と畜場
	132	周南地区食肉センター
	133	防府市と畜場
	134	宇部市食肉センター
徳島	135	徳島市立食肉センター
	136	日本ハム㈱ 徳島工場付設と畜場
	137	全国農業協同組合連合会 徳島県本部 鳴門食肉センター
	138	美馬食肉センター
	139	㈱三好食肉センター
香川	140	高松市食肉センター
	141	㈱香川県畜産公社
	142	香川県農業協同組合 四国大川支部 畜産センター
	143	小豆地区広域行政事務組合 土庄と畜場
愛媛	144	宇和島地区広域事務組合 食肉センター
	145	県農えひめアイパックス㈱ と畜場
高知	146	中村市営食肉センター
	147	高知県広域食肉センター

都道府県名	通し番号	施設名称
福岡	148	県南食肉センター協同組合
	149	九州協同食肉(株)
	150	吉井町営と畜場
	151	北九州市立食肉センター
	152	福岡市中央卸売市場 臨海市場
佐賀	153	太良食肉センター
	154	佐賀県食肉センター
長崎	155	日本フードパッカー(株) 諫早工場と畜場
	156	日本フードパッカー(株) 川棚工場と畜場
	157	下五島食肉センター
	158	国見町食肉センター
	159	佐世保市と畜場 地方卸売市場
熊本	160	(株)熊本畜産流通センター
	161	人吉球磨広域行政組合食肉センター
	162	千興ファーム食肉センター
	163	熊本市食肉地方卸売市場
大分	164	大分ひた農業協同組合食肉センター
	165	九州食肉(株) 大分工場
	166	大分県畜産公社
宮崎	167	都城市食肉センター
	168	延岡市食肉センター
	169	小林市食肉センター
	170	(株)丸正フーズ
	171	(株)ミヤチク 高崎工場
	172	(株)ミヤチク 都農工場
	173	南日本ハム(株)
	174	宮崎市食肉センター
鹿児島	175	加世田市食肉センター
	176	プリマハム(株) 鹿児島工場
	177	南九州畜産興業(株) 末吉と畜場
	178	垂水市食肉センター
	179	日本フードパッカー鹿児島(株)
	180	(株)鹿児島くみあい食肉南薩工場
	181	(株)鹿児島くみあい食肉鹿屋工場
	182	志布志町食肉センター
	183	サンキョーミート(株)
	184	(株)阿久根食肉流通センター

都道府県名	通し番号	施設名称
鹿児島	185	協同組合南州高山ミートセンター
	186	鹿児島市食肉センター
	187	中種子と畜場
	188	屋久町と畜場
	189	名瀬市食肉センター
	190	喜界町と畜場
	191	瀬戸内と畜場
	192	沖永良部と畜場
	193	与論町と畜場
	194	徳之島三ヵ町と畜場組合
沖縄	195	株沖縄県食肉センター
	196	株中部食肉センター
	197	久米島と畜場
	198	株宮古食肉センター
	199	株八重山食肉センター
	200	与那国町食肉処理場

資料：全国食肉センター協議会（社）中央畜産会

「全国食肉処理施設基礎的事業実態報告書」

1 2 出庫依頼情報 (寄託者→冷蔵倉庫事業者)

項番	階層	グループ	項目名称	項目説明	最大桁数	ステータス	チェック
1	ヘッダ	基礎項目	出庫依頼情報ナンバー	冷蔵倉庫事業者が決めた出庫報告情報に振られる一意の番号	X(11)	必須	<input type="checkbox"/>
2			元出庫依頼情報ナンバー	情報を訂正/取消する場合の元の伝票ナンバー	X(11)	選択	<input type="checkbox"/>
3			正式・テストデータ区分	正式データかテストデータかの情報の判別を表す区分 生鮮食品等EDI標準 0:正式データ 9:テストデータ	X(1)	選択	<input type="checkbox"/>
4		アクション要求	アクション要求コード	情報の訂正/取消(赤黒区分)を表すコード 0:通常 1:取消 2:取消修正(黒)	X(1)	必須	<input type="checkbox"/>
5			アクション要求理由コード	当該情報を訂正/取消する場合の理由を示すコード 0:正常 1:数量訂正 2:品名訂正 3:単価訂正 4:重複訂正 9:その他	X(1)	必須	<input type="checkbox"/>
6			アクション要求理由(カナ)	情報を訂正/取消する場合の理由 カナ表記	X(35)	選択	<input type="checkbox"/>
7			アクション要求理由(漢字)	情報を訂正/取消する場合の理由 漢字表記	N(30)	選択	<input type="checkbox"/>
8	データ作成	データ作成年月日	データを作成した年月日(西暦:yyyyymmdd)	X(8)	選択	<input type="checkbox"/>	
9		データ作成時刻	データを作成した時刻(hhmm)	X(4)	選択	<input type="checkbox"/>	
10	出庫関連	出庫依頼年月日	寄託企業が出庫依頼した年月日(西暦:yyyyymmdd)	X(8)	選択	<input type="checkbox"/>	
11		出庫予定年月日	商品の出庫予定年月日(西暦:yyyyymmdd)	X(8)	選択	<input type="checkbox"/>	
90		出庫予定時刻	商品の出庫予定時刻(hhmmss)	X(6)	選択	<input type="checkbox"/>	
13		納品年月日	納品指定の年月日(西暦:yyyyymmdd)	X(8)	必須	<input type="checkbox"/>	
14		希望納品時刻	発注元の希望する納品時刻(hhmm)	X(4)	選択	<input type="checkbox"/>	
15	区分	伝票種類区分	伝票の種類を表す区分(専用帳票、JCA伝票、等) 任意(当事者間で決定)	X(3)	選択	<input type="checkbox"/>	
16		納品区分	店舗直納品、センター経由納品等を表す区分 任意(当事者間で決定)	X(3)	選択	<input type="checkbox"/>	
17		便区分	運送の便を表す区分(1便、2便、3便) 任意(当事者間で決定)	X(3)	選択	<input type="checkbox"/>	
18	経由センター	経由センターコード	経由センターを表すコード (グローバル・ロケーション・ナンバー[GLN](13桁)の使用を原則とする) ※センター経由納品の場合にのみ経由するセンターの流通標準ロケーションナンバーを設定する	X(13)	選択	<input type="checkbox"/>	
19		経由センター名称(カナ)	経由センターの名称 カナ表記	X(35)	選択	<input type="checkbox"/>	
20		経由センター名称(漢字)	経由センターの名称 漢字表記	N(35)	選択	<input type="checkbox"/>	
21	冷蔵倉庫事業者関連	冷蔵倉庫事業者コード	出庫した冷蔵倉庫事業者を表すコード (グローバル・ロケーション・ナンバー[GLN](13桁)の使用を原則とする)	X(13)	必須	<input type="checkbox"/>	
22		冷蔵倉庫事業者名称(カナ)	出庫した冷蔵倉庫事業者の名称 カナ表記	X(35)	選択	<input type="checkbox"/>	
23		冷蔵倉庫事業者名称(漢字)	出庫した冷蔵倉庫事業者の名称 漢字表記	N(35)	選択	<input type="checkbox"/>	
24		冷蔵倉庫事業者倉庫コード	出庫した冷蔵倉庫事業者の倉庫を表すコード 任意(当事者間で決定)	X(13)	選択	<input type="checkbox"/>	
25		冷蔵倉庫事業者倉庫名称(カナ)	出庫した冷蔵倉庫事業者の倉庫の名称 カナ表記	X(35)	選択	<input type="checkbox"/>	
26		冷蔵倉庫事業者倉庫名称(漢字)	出庫した冷蔵倉庫事業者の倉庫の名称 漢字表記	N(35)	選択	<input type="checkbox"/>	
27		冷蔵倉庫事業者担当者コード	出庫した冷蔵倉庫事業者の出庫担当者を表すコード 任意(当事者間で決定)	X(4)	選択	<input type="checkbox"/>	
28		冷蔵倉庫事業者担当者名称(カナ)	出庫した冷蔵倉庫事業者の出庫担当者の名称 カナ表記	X(20)	選択	<input type="checkbox"/>	
29		冷蔵倉庫事業者担当者名称(漢字)	出庫した冷蔵倉庫事業者の出庫担当者の名称 漢字表記	N(20)	選択	<input type="checkbox"/>	
30		冷蔵倉庫事業者担当者電話番号	出庫した冷蔵倉庫事業者の担当者の電話番号	X(20)	選択	<input type="checkbox"/>	
31	冷蔵倉庫事業者担当者FAX番号	出庫した冷蔵倉庫事業者の担当者のFAX番号	X(20)	選択	<input type="checkbox"/>		
32	出庫依頼企業関連	出庫依頼企業コード	出庫を依頼した企業を表すコード (グローバル・ロケーション・ナンバー[GLN](13桁)の使用を原則とする)	X(13)	選択	<input type="checkbox"/>	
33		出庫依頼企業名称(カナ)	出庫を依頼した企業の名称 カナ表記	X(35)	選択	<input type="checkbox"/>	
34		出庫依頼企業名称(漢字)	出庫を依頼した企業の名称 漢字表記	N(35)	選択	<input type="checkbox"/>	

(最大桁数:N 全角かな漢字、X 半角カナ英数、9 数字)

1.2 出庫依頼情報 (寄託者→冷蔵倉庫事業者)

項番	階層	グループ	項目名称	項目説明	最大桁数	ステータス	チェック	
35	ヘッダ	出庫依頼 企業関連	出庫依頼企業部課コード	出庫を依頼した企業の部課等を表すコード 任意 (当事者間で決定)	X(13)	選択	<input type="checkbox"/>	
36			出庫依頼企業部課名称 (カナ)	出庫を依頼した企業の部課等の名称 カナ表記	X(35)	選択	<input type="checkbox"/>	
37			出庫依頼企業部課名称 (漢字)	出庫を依頼した企業の部課等の名称 漢字表記	N(35)	選択	<input type="checkbox"/>	
38			出庫依頼企業担当者コード	出庫を依頼した企業の担当者を表すコード 任意 (当事者間で決定)	X(4)	選択	<input type="checkbox"/>	
39			出庫依頼企業担当者名称 (カナ)	出庫を依頼した企業の担当者の名称 カナ表記	X(20)	選択	<input type="checkbox"/>	
40			出庫依頼企業担当者名称 (漢字)	仲卸等の所属組名 漢字表記	N(20)	選択	<input type="checkbox"/>	
41			出庫依頼企業担当者電話番号	出庫を依頼した企業の担当者の電話番号	X(20)	選択	<input type="checkbox"/>	
42			出庫依頼企業担当者 F A X 番号	出庫を依頼した企業の担当者の F A X 番号	X(20)	選択	<input type="checkbox"/>	
43			出庫先企業	出庫先企業コード	出庫先企業を表すコード (グローバル・ロケーション・ナンバー[GLN] (13桁) の使用を原則とする)	X(13)	選択	<input type="checkbox"/>
44			出庫先企業名称 (カナ)	出庫先企業の名称 カナ表記	X(35)	選択	<input type="checkbox"/>	
45			出庫先企業名称 (漢字)	出庫先企業の名称 漢字表記	N(35)	選択	<input type="checkbox"/>	
46			出庫先企業担当者電話番号	出庫先企業の担当者の電話番号	X(20)	選択	<input type="checkbox"/>	
47			出庫先企業担当者 F A X 番号	出庫先企業の担当者の F A X 番号	X(20)	選択	<input type="checkbox"/>	
48			納品先関連		納品先コード	納品先を表すコード (発注企業の店舗、倉庫等を含む) (グローバル・ロケーション・ナンバー[GLN] (13桁) の使用を原則とする)	X(13)	必須
49	納品先名称 (カナ)	納品先の企業の名称 カナ表記 (発注企業の店舗、倉庫等を含む)			X(35)	選択	<input type="checkbox"/>	
50	納品先名称 (漢字)	納品先の企業の名称 漢字表記 (発注企業の店舗、倉庫等を含む)			N(35)	選択	<input type="checkbox"/>	
51	納品先部課コード	納品先の店舗売場、本部課等を表すコード 任意 (当事者間で決定)			X(13)	選択	<input type="checkbox"/>	
52	納品先部課名称 (カナ)	納品先の店舗売場、本部課等の名称 カナ表記			X(35)	選択	<input type="checkbox"/>	
53	納品先部課名称 (漢字)	納品先の店舗売場、本部課等の名称 漢字表記			N(35)	選択	<input type="checkbox"/>	
54	納品先住所 (カナ)	納品先の住所 カナ表記			X(30)	選択	<input type="checkbox"/>	
55	納品先住所 (漢字)	納品先の住所 漢字表記			N(35)	選択	<input type="checkbox"/>	
56	運送会社		運送区分	運送方法を表す区分 任意 (当事者間で決定)	X(2)	選択	<input type="checkbox"/>	
57			運送会社コード	運送会社を表すコード (グローバル・ロケーション・ナンバー[GLN] (13桁) の使用を原則とする)	X(13)	選択	<input type="checkbox"/>	
58			運送会社名称 (カナ)	運送会社の名称 カナ表記	X(35)	選択	<input type="checkbox"/>	
59			運送会社名称 (漢字)	運送会社の名称 漢字表記	N(35)	選択	<input type="checkbox"/>	
60			運送コード	運送の詳細を表すコード 任意 (当事者間で決定) : トラック・貨車ナンバー等	X(10)	選択	<input type="checkbox"/>	
61	明細		明細行ナンバー	出庫依頼情報の明細単位に振られる番号	9(5)	必須	<input type="checkbox"/>	
62			商品	商品コード	発注時の商品を表すコード 生鮮共通商品コード(13桁)の使用を原則とする ( "標準商品コード表" 参照)	X(13)	必須	<input type="checkbox"/>
63				商品名 (カナ)	商品の名称 カナ表記	X(30)	選択	<input type="checkbox"/>
64			商品名 (漢字)	商品の名称 漢字表記	N(30)	選択	<input type="checkbox"/>	
65			等級	等級コード	商品の等級を表すコード ( "標準商品コード表" 参照)	X(3)	選択	<input type="checkbox"/>
66				等級名称 (カナ)	商品の等級を表す名称 カナ表記	X(8)	選択	<input type="checkbox"/>
67				等級名称 (漢字)	商品の等級を表す名称 漢字表記	N(4)	選択	<input type="checkbox"/>
68			規格	規格	商品のサイズ、整形方法指示、ピース毎の重量範囲を示す 漢字表記	N(35)	選択	<input type="checkbox"/>
69			原産地	原産地コード	原産地 (国内: 都道府県、輸入: 輸入国) を表すコード ・国内は J I S 都道府県コード ・国外は I S O 3 1 6 6 3 文字のアルファベットコード	X(3)	選択	<input type="checkbox"/>
70				原産地名 (カナ)	原産地名 (国内: 都道府県名、輸入: 輸入国略称) カナ表記	X(20)	選択	<input type="checkbox"/>
71	原産地名 (漢字)	原産地名 (国内: 都道府県名、輸入: 輸入国略称) 漢字表記		N(10)	選択	<input type="checkbox"/>		
72			品質保持期限	商品の品質が保持できる期限	X(8)	選択	<input type="checkbox"/>	

(最大桁数: N 全角かな漢字、X 半角カナ英数、9 数字)

1 2 出庫依頼情報 (寄託者→冷蔵倉庫事業者)

項番	階層	グループ	項目名称	項目説明	最大桁数	ステータス	チェック
73	明細	物流バーコード 関連	物流商品コード	物流バーコード内の商品コードを表す 9+JANバーコード(7桁、49XXXX)+標準品名コード(5桁)+チェックディジット	X(14)	選択	<input type="checkbox"/>
74			重量単位区分	商品重量の計算基準となる重量の単位を表す区分 0:kg 1:LBS	X(3)	選択	<input type="checkbox"/>
75			重量	商品の重量(重量単位区分で指定した単位) 枝肉の場合:枝肉の重量 ボックスミートの場合:ケースの合計重量を示す	S9(4)V9(2)	選択	<input type="checkbox"/>
76			製造年月日	製造したの製造年月日(パッキングデート(部分肉)、と畜年月日(枝肉)など)	X(8)	選択	<input type="checkbox"/>
77			カートンID	カートン毎に一意に振られる番号	X(12)	選択	<input type="checkbox"/>
78			ロット番号	製造ロット番号を表す ロットは、品質が同一と見なせる単位や、同一の加工指示により処理された単位のこと	X(20)	選択	<input type="checkbox"/>
79			枝肉番号・カット規格番号	枝肉番号、または枝肉番号に続けてカット規格番号を表す 枝肉番号は下記の7桁とする。 工場番号(2桁)+枝肉番号(4桁)+左右識別(1桁)	X(30)	選択	<input type="checkbox"/>
80			個体識別番号	独立行政法人家畜改良センターが管理を行う個体識別番号	X(10)	選択	<input type="checkbox"/>
81			カット規格番号 (メーカー設定)	メーカーが設定するカット規格番号	X(30)	選択	<input type="checkbox"/>
82			パッカーメーカー 関連	パッカーメーカーコード	パッカーメーカーを表すコード (グローバル・ロケーション・ナンバー[GLN] (13桁)の使用を原則とする)	X(13)	選択
83		パッカーメーカー名称 (カナ)		パッカーメーカーの名称 カナ表記	X(35)	選択	<input type="checkbox"/>
84		パッカーメーカー名称 (漢字)		パッカーメーカーの名称 漢字表記	N(35)	選択	<input type="checkbox"/>
85		工場番号		パッカーメーカー毎の工場番号を表すコード	X(13)	選択	<input type="checkbox"/>
86		荷姿	荷姿コード	商品の荷姿を表すコード (“標準商品コード表”参照)	X(3)	選択	<input type="checkbox"/>
87			荷姿名(カナ)	商品の荷姿を表す名称 カナ表記	X(8)	選択	<input type="checkbox"/>
88			荷姿名(漢字)	商品の荷姿を表す名称 漢字表記	N(4)	選択	<input type="checkbox"/>
89			入数	商品の荷姿に入っている商品の数量	S9(4)	選択	<input type="checkbox"/>
90			計算区分コード	計算の種別を表すコード 1:数量計算商品 2:重量計算商品	X(1)	選択	<input type="checkbox"/>
91		出庫関連	出庫単位区分	出庫単位を表す区分 任意(当事者間で決定) (例、1:キロ、3:トウ、4:セット、6:コ、7:グラム、8:ケース、 9:ポンド)	X(3)	選択	<input type="checkbox"/>
92			出庫単位名称(カナ)	出庫単位の名称 カナ表記 (例、キロ、トウ、セット、コ、グラム、グラム、 ケース、ケース、ポンド、ポンド)	X(5)	選択	<input type="checkbox"/>
93			出庫単位数	出庫単位名称に対応した名義変更単位の数 (例、10:10キログラム、20:20箱)	9(4)V9(2)	選択	<input type="checkbox"/>
94			出庫単位入数	出庫単位当りの入数	9(4)V9(1)	選択	<input type="checkbox"/>
95			出庫単位入数区分	出庫単位入数の単位を表す区分 任意(当事者間で決定) (例、1:キロ、3:トウ、4:セット、6:コ、7:グラム、8:ケース、 9:ポンド)	X(3)	選択	<input type="checkbox"/>
96			出庫依頼数量	商品の出庫依頼数	S9(6)V9(2)	選択	<input type="checkbox"/>
97			出庫依頼重量	出庫依頼時の商品の重量(重量単位区分)	S9(6)V9(3)	選択	<input type="checkbox"/>
98			平均単量	当該商品1小口の平均重量(平均単量)	S9(6)V9(3)	選択	<input type="checkbox"/>
99		入庫時情報	入庫ナンバー	商品の入庫時に振られるロットナンバーを表す	X(13)	選択	<input type="checkbox"/>
100			入庫年月日	商品が入庫した年月日(西暦:yyymmdd)	X(8)	選択	<input type="checkbox"/>
101			契約ナンバー	取引契約時のインボイス(契約ナンバー)	X(13)	選択	<input type="checkbox"/>
102			セット番号	複数の「契約ナンバー」をまとめて、セット単位で精算する場合に使用する番号	X(13)	選択	<input type="checkbox"/>
103			不定買区分	入庫予定の商品が、不定買か定買を表す区分 0:不定買 1:定買	X(1)	選択	<input type="checkbox"/>
104			備考	備考(カナ)	任意 カナ表記	X(35)	選択
105		備考(漢字)		任意 漢字表記	N(35)	選択	<input type="checkbox"/>
106	トータル		明細件数	出庫報告情報の明細の件数	9(5)	選択	<input type="checkbox"/>

(最大桁数:N 全角かな漢字、X 半角カナ英数、9 数字)

**1 2 出庫依頼情報（寄託者→冷蔵倉庫事業者）**

項番	階層	グループ	項目名称	項目説明	最大桁数	ステータス	チェック
107		出庫関連合計	出庫依頼数量合計	明細部の「出庫依頼数量」の合計	S9(6)V9(2)	必須	<input type="checkbox"/>
108			出庫依頼重量合計	明細部の「出庫依頼重量」の合計（重量単位区分）	S9(6)V9(3)	必須	<input type="checkbox"/>
109		備考	備考（カナ）	任意 カナ表記	X(35)	選択	<input type="checkbox"/>
110			備考（漢字）	任意 漢字表記	N(35)	選択	<input type="checkbox"/>

（最大桁数：N 全角かな漢字、X 半角カナ英数、9 数字）



1.3 出庫報告情報（冷蔵倉庫事業者→委託者）

項番	階層	グループ	項目名称	項目説明	最大桁数	ステータス	チェック
1	ヘッダ	基礎項目	出庫報告情報ナンバー	冷蔵倉庫事業者が決めた出庫報告情報に振られる一意の番号	X(11)	必須	<input type="checkbox"/>
2			元出庫報告情報ナンバー	情報を訂正/取消する場合の元の伝票ナンバー	X(11)	選択	<input type="checkbox"/>
3			正式・テストデータ区分	正式データかテストデータかの情報の判別を表す区分 生鮮食品等EDI標準 0:正式データ 9:テストデータ	X(1)	選択	<input type="checkbox"/>
4	アクション要求	アクション要求コード	アクション要求理由	情報の訂正/取消（赤黒区分）を表すコード 0:通常 1:取消 2:取消修正(黒)	X(1)	必須	<input type="checkbox"/>
5			アクション要求理由コード	当該情報を訂正/取消する場合の理由を示すコード 0:正常 1:数量訂正 2:品名訂正 3:単価訂正 4:重複訂正 9:その他	X(1)	必須	<input type="checkbox"/>
6			アクション要求理由(カナ)	情報を訂正/取消する場合の理由 カナ表記	X(35)	選択	<input type="checkbox"/>
7	データ作成	アクション要求理由(漢字)	アクション要求理由(漢字)	情報を訂正/取消する場合の理由 漢字表記	N(30)	選択	<input type="checkbox"/>
8			データ作成年月日	データを作成した年月日(西暦:yyyymmdd)	X(8)	選択	<input type="checkbox"/>
9			データ作成時刻	データを作成した時刻(hhmm)	X(4)	選択	<input type="checkbox"/>
10	出庫情報	出庫情報	出庫依頼情報ナンバー	委託企業が決めた出庫依頼情報に振られる一意の番号	X(11)	選択	<input type="checkbox"/>
11			出庫依頼年月日	委託企業が出庫依頼した年月日(西暦:yyyymmdd)	X(8)	選択	<input type="checkbox"/>
12			出庫予定年月日	商品の出庫予定年月日(西暦:yyyymmdd)	X(8)	選択	<input type="checkbox"/>
98			出庫予定時刻	商品の出庫予定時刻(hhmmss)	X(6)	選択	<input type="checkbox"/>
14			納品年月日	納品指定の年月日(西暦:yyyymmdd)	X(8)	必須	<input type="checkbox"/>
15			希望納品時刻	発注元の希望する納品時刻(hhmm)	X(4)	選択	<input type="checkbox"/>
16	区分	区分	伝票種類区分	伝票の種類を表す区分(専用伝票、JCA伝票、等)任意(当事者間で決定)	X(3)	選択	<input type="checkbox"/>
17			伝票区分	納品、返品、取消等を表す区分 JCA伝票の伝票区分に準拠	X(2)	選択	<input type="checkbox"/>
18			納品区分	店舗直納品、センター経由納品等を表す区分任意(当事者間で決定)	X(3)	選択	<input type="checkbox"/>
19			便区分	運送の便を表す区分(1便、2便、3便)任意(当事者間で決定)	X(3)	選択	<input type="checkbox"/>
20	経由センター	経由センター	経由センターコード	経由センターを表すコード (グローバル・ロケーション・ナンバー[GLN](13桁)の使用を原則とする) ※センター経由納品の場合にのみ経由するセンターの流通標準ロケーションナンバーを設定する	X(13)	選択	<input type="checkbox"/>
21			経由センター名称(カナ)	経由センターの名称 カナ表記	X(35)	選択	<input type="checkbox"/>
22			経由センター名称(漢字)	経由センターの名称 漢字表記	N(35)	選択	<input type="checkbox"/>
23	冷蔵倉庫事業者関連	冷蔵倉庫事業者関連	冷蔵倉庫事業者コード	出庫した冷蔵倉庫事業者を表すコード (グローバル・ロケーション・ナンバー[GLN](13桁)の使用を原則とする)	X(13)	必須	<input type="checkbox"/>
24			冷蔵倉庫事業者名称(カナ)	出庫した冷蔵倉庫事業者の名称 カナ表記	X(35)	選択	<input type="checkbox"/>
25			冷蔵倉庫事業者名称(漢字)	出庫した冷蔵倉庫事業者の名称 漢字表記	N(35)	選択	<input type="checkbox"/>
26			冷蔵倉庫事業者倉庫コード	出庫した冷蔵倉庫事業者の倉庫を表すコード 任意(当事者間で決定)	X(13)	選択	<input type="checkbox"/>
27			冷蔵倉庫事業者倉庫名称(カナ)	出庫した冷蔵倉庫事業者の倉庫の名称 カナ表記	X(35)	選択	<input type="checkbox"/>
28			冷蔵倉庫事業者倉庫名称(漢字)	出庫した冷蔵倉庫事業者の倉庫の名称 漢字表記	N(35)	選択	<input type="checkbox"/>
29			冷蔵倉庫事業者担当者コード	出庫した冷蔵倉庫事業者の出庫担当者を表すコード 任意(当事者間で決定)	X(4)	選択	<input type="checkbox"/>
30			冷蔵倉庫事業者担当者名称(カナ)	出庫した冷蔵倉庫事業者の出庫担当者の名称 カナ表記	X(20)	選択	<input type="checkbox"/>
31			冷蔵倉庫事業者担当者名称(漢字)	出庫した冷蔵倉庫事業者の出庫担当者の名称 漢字表記	N(20)	選択	<input type="checkbox"/>
32			冷蔵倉庫事業者担当者電話番号	出庫した冷蔵倉庫事業者の担当者の電話番号	X(20)	選択	<input type="checkbox"/>
33			冷蔵倉庫事業者担当者FAX番号	出庫した冷蔵倉庫事業者の担当者のFAX番号	X(20)	選択	<input type="checkbox"/>
34			委託企業関連	委託企業関連	委託企業コード	委託企業を表すコード (グローバル・ロケーション・ナンバー[GLN](13桁)の使用を原則とする)	X(13)
35	委託企業名称(カナ)	委託企業の名称 カナ表記			X(35)	選択	<input type="checkbox"/>
36	委託企業名称(漢字)	委託企業の名称 漢字表記			N(35)	選択	<input type="checkbox"/>

(最大桁数:N 全角かな漢字、X 半角カナ英数、9 数字)

1.3 出庫報告情報 (冷蔵倉庫事業者→寄託者)

項番	階層	グループ	項目名称	項目説明	最大桁数	ステータス	チェック	
37	ヘッダ	寄託企業 関連	寄託企業部課コード	寄託企業の部課等を表すコード 任意 (当事者間で決定)	X(13)	選択	<input type="checkbox"/>	
38			寄託企業部課名称 (カナ)	寄託企業の部課等の名称 カナ表記	X(35)	選択	<input type="checkbox"/>	
39			寄託企業部課名称 (漢字)	寄託企業の部課等の名称 漢字表記	N(35)	選択	<input type="checkbox"/>	
40			寄託企業担当者コード	仲卸等の所属組合名 漢字表記	X(4)	選択	<input type="checkbox"/>	
41			寄託企業担当者名称 (カナ)	寄託企業の担当者の名称 カナ表記	X(20)	選択	<input type="checkbox"/>	
42			寄託企業担当者名称 (漢字)	寄託企業の担当者の名称 漢字表記	N(20)	選択	<input type="checkbox"/>	
43			寄託企業担当者電話番号	寄託企業の担当者の電話番号	X(20)	選択	<input type="checkbox"/>	
44			寄託企業担当者FAX番号	寄託企業の担当者のFAX番号	X(20)	選択	<input type="checkbox"/>	
45			出庫依頼 企業関連	出庫依頼企業コード	出庫を依頼した企業を表すコード (グローバル・ロケーション・ナンバー[GLN] (13桁)の使用を原則とする)	X(13)	選択	<input type="checkbox"/>
46				出庫依頼企業名称 (カナ)	出庫を依頼した企業の名称 カナ表記	X(35)	選択	<input type="checkbox"/>
47				出庫依頼企業名称 (漢字)	出庫を依頼した企業の名称 漢字表記	N(35)	選択	<input type="checkbox"/>
48				出庫依頼企業部課コード	出庫を依頼した企業の部課等を表すコード 任意 (当事者間で決定)	X(13)	選択	<input type="checkbox"/>
49				出庫依頼企業部課名称 (カナ)	出庫を依頼した企業の部課等の名称 カナ表記	X(35)	選択	<input type="checkbox"/>
50				出庫依頼企業部課名称 (漢字)	出庫を依頼した企業の部課等の名称 漢字表記	N(35)	選択	<input type="checkbox"/>
51	出庫依頼企業担当者コード	出庫を依頼した企業の担当者を表すコード 任意 (当事者間で決定)		X(4)	選択	<input type="checkbox"/>		
52	出庫依頼企業担当者名称 (カナ)	出庫を依頼した企業の担当者の名称 カナ表記		X(20)	選択	<input type="checkbox"/>		
53	出庫依頼企業担当者名称 (漢字)	出庫を依頼した企業の担当者の名称 漢字表記		N(20)	選択	<input type="checkbox"/>		
54	出庫依頼企業担当者電話番号	出庫を依頼した企業の担当者の電話番号		X(20)	選択	<input type="checkbox"/>		
55	出庫依頼企業担当者FAX番号	出庫を依頼した企業の担当者のFAX番号	X(20)	選択	<input type="checkbox"/>			
56	出庫先企業	出庫先企業コード	出庫先企業を表すコード (グローバル・ロケーション・ナンバー[GLN] (13桁)の使用を原則とする)	X(13)	選択	<input type="checkbox"/>		
57		出庫先企業名称 (カナ)	出庫先企業の名称 カナ表記	X(35)	選択	<input type="checkbox"/>		
58		出庫先企業名称 (漢字)	出庫先企業の名称 漢字表記	N(35)	選択	<input type="checkbox"/>		
59		出庫先企業担当者電話番号	出庫先企業の担当者の電話番号	X(20)	選択	<input type="checkbox"/>		
60		出庫先企業担当者FAX番号	出庫先企業の担当者のFAX番号	X(20)	選択	<input type="checkbox"/>		
61	納品先関連	納品先コード	納品先を表すコード (発注企業の店舗、倉庫等を含む) (グローバル・ロケーション・ナンバー[GLN] (13桁)の使用を原則とする)	X(13)	必須	<input type="checkbox"/>		
62		納品先名称 (カナ)	納品先の企業の名称 カナ表記 (発注企業の店舗、倉庫等を含む)	X(35)	選択	<input type="checkbox"/>		
63		納品先名称 (漢字)	納品先の企業の名称 漢字表記 (発注企業の店舗、倉庫等を含む)	N(35)	選択	<input type="checkbox"/>		
64		納品先部課コード	納品先の店舗売場、本部課等を表すコード 任意 (当事者間で決定)	X(13)	選択	<input type="checkbox"/>		
65		納品先部課名称 (カナ)	納品先の店舗売場、本部課等の名称 カナ表記	X(35)	選択	<input type="checkbox"/>		
66		納品先部課名称 (漢字)	納品先の店舗売場、本部課等の名称 漢字表記	N(35)	選択	<input type="checkbox"/>		
67		納品先住所 (カナ)	納品先の住所 カナ表記	X(30)	選択	<input type="checkbox"/>		
68		納品先住所 (漢字)	納品先の住所 漢字表記	N(35)	選択	<input type="checkbox"/>		
69	運送会社	運送区分	運送方法を表す区分 任意 (当事者間で決定)	X(2)	選択	<input type="checkbox"/>		
70		運送会社コード	運送会社を表すコード (グローバル・ロケーション・ナンバー[GLN] (13桁)の使用を原則とする)	X(13)	選択	<input type="checkbox"/>		
71		運送会社名称 (カナ)	運送会社の名称 カナ表記	X(35)	選択	<input type="checkbox"/>		
72		運送会社名称 (漢字)	運送会社の名称 漢字表記	N(35)	選択	<input type="checkbox"/>		
73		運送コード	運送の詳細を表すコード 任意 (当事者間で決定) : トラック・貨車ナンバー等	X(10)	選択	<input type="checkbox"/>		
74	明細	明細行ナンバー	出庫報告情報の明細単位に振られる番号	9(5)	必須	<input type="checkbox"/>		
75	出庫年月日	出庫年月日	冷蔵倉庫から高品を出庫した実際の年月日 (西暦: yyyymmdd)	X(8)	必須	<input type="checkbox"/>		
76		元出庫年月日	訂正/取消する元の出庫報告情報の出庫年月日 (西暦: yyyymmdd)	X(8)	選択	<input type="checkbox"/>		

(最大桁数: N 全角かな漢字、X 半角カナ英数、9 数字)

1.3 出庫報告情報 (冷蔵倉庫事業者→寄託者)

項番	階層	グループ	項目名称	項目説明	最大桁数	ステータス	チェック
77	明細	商品	商品コード	発注時の商品を表すコード 生鮮共通商品コード(13桁)の使用を原則とする (“標準商品コード表”参照)	X(13)	必須	<input type="checkbox"/>
78			商品名 (カナ)	商品の名称 カナ表記	X(30)	選択	<input type="checkbox"/>
79			商品名 (漢字)	商品の名称 漢字表記	N(30)	選択	<input type="checkbox"/>
80		等級	等級コード	商品の等級を表すコード (“標準商品コード表”参照)	X(3)	選択	<input type="checkbox"/>
81			等級名称 (カナ)	商品の等級を表す名称 カナ表記	X(8)	選択	<input type="checkbox"/>
82			等級名称 (漢字)	商品の等級を表す名称 漢字表記	N(4)	選択	<input type="checkbox"/>
83		規格	規格	商品のサイズ、整形方法指示、ピース毎の重量範囲を示す 漢字表記	N(35)	選択	<input type="checkbox"/>
84		原産地	原産地コード	原産地 (国内：都道府県、輸入：輸入国)を表すコード ・国内はJIS都道府県コード ・国外はISO 3166 3文字のアルファベットコード	X(3)	選択	<input type="checkbox"/>
85			原産地名 (カナ)	原産地名 (国内：都道府県名、輸入：輸入国略称) カナ表記	X(20)	選択	<input type="checkbox"/>
86			原産地名 (漢字)	原産地名 (国内：都道府県名、輸入：輸入国略称) 漢字表記	N(10)	選択	<input type="checkbox"/>
87			品質保持期限	商品の品質が保持できる期限	X(8)	選択	<input type="checkbox"/>
88		物流バーコード 関連	物流商品コード	物流バーコード内の商品コードを表す 9+JAN+コード(7桁、49XXXX)+標準品名コード(5桁)+チェックジット	X(14)	選択	<input type="checkbox"/>
89			重量単位区分	商品重量の計算基準となる重量の単位を表す区分 0: kg 1: LBS	X(3)	選択	<input type="checkbox"/>
90			重量	商品の重量 (重量単位区分で指定した単位) 枝肉の場合：枝肉の重量 ボックスミートの場合：ケースの合計重量を示す	S9(4)V9(2)	選択	<input type="checkbox"/>
91			製造年月日	製造したの製造年月日 (パッキングデート(部分肉)、と畜年月日(枝肉)など)	X(8)	選択	<input type="checkbox"/>
92			カートンID	カートン毎に一意に振られる番号	X(12)	選択	<input type="checkbox"/>
93			ロット番号	製造ロット番号を表す ロットは、品質が同一と見なせる単位や、同一の加工指示により処理された単位のこと	X(20)	選択	<input type="checkbox"/>
94			枝肉番号・カット規格番号	枝肉番号、または枝肉番号に続けてカット規格番号を表す 枝肉番号は下記の7桁とする。 工場番号(2桁)+枝肉番号(4桁)+左右識別(1桁)	X(30)	選択	<input type="checkbox"/>
95		個体識別番号	独立行政法人畜産改良センターが管理を行う個体識別番号	X(10)	選択	<input type="checkbox"/>	
96		カット規格番号 (メーカー設定)	メーカーが設定するカット規格番号	X(30)	選択	<input type="checkbox"/>	
97		パッカーメーカー 関連	パッカーメーカーコード	パッカーメーカーを表すコード (グローバル・ロケーション・ナンバー[GLN] (13桁)の使用を原則とする)	X(13)	選択	<input type="checkbox"/>
98			パッカーメーカー名称 (カナ)	パッカーメーカーの名称 カナ表記	X(35)	選択	<input type="checkbox"/>
99			パッカーメーカー名称 (漢字)	パッカーメーカーの名称 漢字表記	N(35)	選択	<input type="checkbox"/>
100			工場番号	パッカーメーカー毎の工場番号を表すコード	X(13)	選択	<input type="checkbox"/>
101		荷姿	荷姿コード	商品の荷姿を表すコード (“標準商品コード表”参照)	X(3)	選択	<input type="checkbox"/>
102			荷姿名 (カナ)	商品の荷姿を表す名称 カナ表記	X(8)	選択	<input type="checkbox"/>
103			荷姿名 (漢字)	商品の荷姿を表す名称 漢字表記	N(4)	選択	<input type="checkbox"/>
104	入数		商品の荷姿に入っている商品の数量	S9(4)	選択	<input type="checkbox"/>	
105		計算区分コード	計算の種別を表すコード 1: 数量計算商品 2: 重量計算商品	X(1)	選択	<input type="checkbox"/>	
106	出庫関連	出庫単位区分	出庫単位を表す区分 任意 (当事者間で決定) (例、1: キロ、3: トウ、4: セット、6: コ、7: グラム、8: ケース、 9: ポンド)	X(3)	選択	<input type="checkbox"/>	
107		出庫単位名称 (カナ)	出庫単位の名称 カナ表記 (例、キ: キロ、ト: トウ、セ: セット、コ: コ、グ: グラム、 ケ: ケース、ポ: ポンド)	X(5)	選択	<input type="checkbox"/>	
108		出庫単位数	出庫単位名称に対応した名義変更単位の数 (例、10: 10キログラム、20: 20箱)	9(4)V9(2)	選択	<input type="checkbox"/>	

(最大桁数: N 全角かな漢字、X 半角カナ英数、9 数字)

1.3 出庫報告情報 (冷蔵倉庫事業者→寄託者)

項番	階層	グループ	項目名称	項目説明	最大桁数	ステータス	チェック	
109	明細	出庫関連	出庫単位入数	出庫単位当りの入数	9(4)V9(1)	選択	<input type="checkbox"/>	
110			出庫単位入数区分	出庫単位入数の単位を表す区分 任意 (当事者間で決定) (例、1:キロ、3:トウ、4:セット、6:コ、7:グラム、8:ケース、9:ポンド)	X(3)	選択	<input type="checkbox"/>	
111			出庫依頼数量	商品の出庫依頼数 (出庫依頼情報の出庫依頼数量)	S9(6)V9(2)	選択	<input type="checkbox"/>	
112			出庫数量	出庫依頼数量に対する商品の実出庫数量	S9(6)V9(2)	必須	<input type="checkbox"/>	
113			端数	サンプルや事故等により生じた端数	S9(4)	選択	<input type="checkbox"/>	
114			出庫重量	出庫時の商品の重量 (重量単位区分)	S9(6)V9(3)	必須	<input type="checkbox"/>	
115			出庫後在庫数量	当該商品の出庫後の在庫数量 (残数)	S9(6)V9(2)	選択	<input type="checkbox"/>	
116			平均単量	当該商品 1 小口の平均重量 (平均単量)	S9(6)V9(3)	選択	<input type="checkbox"/>	
117			入庫時情報	入庫ナンバー	商品の入庫時に振られるロットナンバーを表す	X(13)	選択	<input type="checkbox"/>
118				入庫年月日	商品が入庫した年月日 (西暦: y y y m m d)	X(8)	選択	<input type="checkbox"/>
119				契約ナンバー	取引契約時のインボイス (契約ナンバー)	X(13)	選択	<input type="checkbox"/>
120		セット番号		複数の「契約ナンバー」をまとめて、セット単位で精算する場合に使用する番号	X(13)	選択	<input type="checkbox"/>	
121		不定買区分		入庫予定の商品が、不定買か定買を表す区分 0:不定買 1:定買	X(1)	選択	<input type="checkbox"/>	
122		荷受人関連		荷受人コード	実際に荷を受け取る企業を表すコード (グローバル・ロケーション・ナンバー[GLN] (13桁) の使用を原則とする)	X(13)	選択	<input type="checkbox"/>
123			荷受人名称 (カナ)	実際に荷を受け取る企業の名称 カナ表記	X(35)	選択	<input type="checkbox"/>	
124			荷受人名称 (漢字)	実際に荷を受け取る企業の名称 漢字表記	N(35)	選択	<input type="checkbox"/>	
125			荷受人部課コード	実際に荷を受け取る企業の部課等を表すコード 任意 (当事者間で決定)	X(13)	選択	<input type="checkbox"/>	
126			荷受人部課名称 (カナ)	実際に荷を受け取る企業の部課等の名称 カナ表記	X(35)	選択	<input type="checkbox"/>	
127			荷受人部課名称 (漢字)	実際に荷を受け取る企業の部課等の名称 漢字表記	N(35)	選択	<input type="checkbox"/>	
128			荷受人担当者電話番号	実際に荷を受け取る企業の担当者の電話番号	X(20)	選択	<input type="checkbox"/>	
129			荷受人担当者FAX番号	実際に荷を受け取る企業の担当者のFAX番号	X(20)	選択	<input type="checkbox"/>	
130			備考	備考 (カナ)	任意 カナ表記	X(35)	選択	<input type="checkbox"/>
131		備考 (漢字)		任意 漢字表記	N(35)	選択	<input type="checkbox"/>	
132	トータル		明細件数	出庫報告情報の明細の件数	9(5)	選択	<input type="checkbox"/>	
133		出庫関連合計	出庫数量合計	明細部の「出庫数量」の合計	S9(6)V9(2)	必須	<input type="checkbox"/>	
134			出庫重量合計	明細部の「出庫重量」の合計 (重量単位区分)	S9(6)V9(3)	必須	<input type="checkbox"/>	
135		備考	備考 (カナ)	任意 カナ表記	X(35)	選択	<input type="checkbox"/>	
136			備考 (漢字)	任意 漢字表記	N(35)	選択	<input type="checkbox"/>	

(最大桁数: N 全角かな漢字、X 半角カナ英数、9 数字)

資料：財団法人 食品流通構造改善促進機構

「食肉EDI標準メッセージ(第2次バージョン)データ項目集」

国産牛肉トレーサビリティ導入手引書  
(販売業者編：電子伝達・記録・保存)

平成16年7月

財団法人 日本食肉流通センター

〒210-0869

神奈川県川崎市川崎区東扇島24番地

TEL 044-266-1172

FAX 044-299-3216